# Dell<sup>™</sup> Dimension<sup>™</sup> C521

オーナーズマニュアル



#### Model DCNE

## メモ、注意、警告

- メモ:コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
- 注意:ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回避するための方法を 説明しています。

▲ 注意:物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

## 略語について

略語の詳しい説明は、119ページの「用語集」を参照してください。

Dell<sup>™</sup> n シリーズコンピュータをご購入された場合、この文書の Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> OS についての 説明は適用されません。

#### 本書の内容は予告なく変更されることがあります。 © 2006 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標: Dell、DELL ロゴ、Inspiron、Dell Precision、Dimension、OptiPlex、Latitude、PowerEdge、 PowerConnect、PowerVault、PowerApp、XPS、Dell TravelLite、および Dell OpenManage は Dell Inc. の商標です。Microsoft および Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。AMD、AMD Athlon、およびこれらの組み合わせ、ならびに Cool 'n' Quiet は、Advanced Micro Devices, Inc の商標です。EMC は EMC Corporation の登録商標です。

本書では、商標および商標名を主張する会社またはその製品を参照するのに、これ以外の商標および商標名が使用される場合があります。これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

Model DCNE

2006 年 8 月 P/N PY373 Rev. A00

# 目次

	情報の検索方法	. 9
1	コンピュータのセットアップと使い方	15
	コンピュータの正面図	15
	コンピュータの背面図	17
	背面パネルの I/0 コネクタ	18
	<b>プリンタのセットアップ</b>	<b>20</b> 20 21
	<b>インターネットへの接続</b>	<b>22</b> 22
	<b>CD および DVD の再生方法</b>	<b>23</b> 25 25
	<b>CD および DVD のコピー</b> CD または DVD のコピーの仕方 空の CD および DVD の使い方 便利なヒント	<b>25</b> 26 26 27
	メディアカードリーダー(オプション)の使い方........	28
	<b>家庭用および企業用ネットワークのセットアップ</b>	<b>29</b> 30
	<b>電力の管理</b>	<b>30</b> 30 31
	<b>電源オプションのプロパティ</b> 電源設定タブ 詳細設定タブ 休止状態タブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>31</b> 32 32 33
	Cool n Uulet™ アクノロシの有効化	33

2	問題の解決	35
	トラブルシューティングのヒント	35
	バッテリーの問題..............................	35
	<b>ドライブの問題</b> CD および DVD ドライブの問題 ハードドライブの問題	<b>36</b> 37 37
	E- メール、モデム、およびインターネットの問題	38
	エラーメッセージ	39
	キーボードの問題	40
	フリーズおよびソフトウェアの問題         コンピュータが起動しない         コンピュータが応答しない         プログラムが応答しない         プログラムが線り返しクラッシュする         プログラムが以前の Windows OS 向けに設計されている         画面が青色(ブルースクリーン)になった         その他のソフトウェアの問題	<b>40</b> 40 41 41 41 41 41 42
	メディアカードリーダーの問題	43
	メモリの問題 マウスの問題	44 44
	ネットワークの問題.............................	45
	電源の問題	46 47
	スキャナーの問題	48
	<b>サウンドおよびスピーカーの問題</b> スピーカーから音が出ない場合	<b>49</b> 49 50
	ビデオおよびモニターの問題	<b>50</b> 50 51

3	アドバンストラブルシューティング	53
	<b>電源ライトと診断ライト</b>	<b>53</b> 53 54
	<b>Dell Diagnostics(診断)プログラム</b> Dell Diagnostics(診断)プログラムのメインメニュー	<b>57</b> 57
	<b>ドライバ</b> ドライバとは?ドライバの識別	<b>59</b> 59 59 60
	ソフトウェアとハードウェアの非互換性の問題を解決するには....	61
	<b>お使いの 0S の復元</b> Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> XP システムの復元の使い方 Symantec による Dell™ PC リストアの使い方 Dell PC リストアの削除	<b>61</b> 61 63 64
4	部品の取り外しと取り付け	65
	<b>作業を開始する前に</b> 推奨するツール コンピュータの電源を切る方法 コンピュータ内部の作業を始める前に	<b>65</b> 65 65 66
	コンピュータカバーの取り外し..................	66
	コンピュータの内面図	68
	システム基板のコンポーネント.....................	69
	<b>メモリ</b> DDR2 メモリの概要 メモリの取り付け メモリの取り外し	<b>70</b> 70 72 74
	カード	75

ドライブ	11
一般的な取り付けカイドライン8	2
トノイノイノダノエースコネクタ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20 20
電泳 フルコネノフ	י∠ ₹3
	.0
ハードドライブ	3
	3
ハードドライフの取り付け8	4
フロッピードライブ8	17
フロッピードライブの取り外し8	37
フロッピードライブの取り付け8	19
メディアカードリーダー	)1
メディアカードリーダーの取り外し9	91
メディアカードリーダーの取り付け	)2
CD/DVD หืองว่า ๆ	14
CD/DVD 「 プ イ プ	14
CD/DVD ドライブの取り付け 9	15
パッテリー	<i>1</i> 6
バッテリーの交換9	16
コンピュータカバーの取り付け9	8
付得。	۵
['] 水	J
仕様	9
セットアップユーティリティ	3
概要	)3
セットアップユーティリティの起動	)4
セットアップユーティリティのオプション10	)5
起動メニュー	0
忘れたパスワードと CMOS 設定をクリアするには........11	2
ジャンパの位置11	2
パスワード設定のクリア11	2
CMOS 設定のクリア 11	3

5

コンピュータのクリーニング	113
コンピュータ、キーボード、およびモニター	113
マウス	114
フロッピードライブ.....................	114
CDとDVD	114
デルハードウェア保証サポートポリシー(米国内のみ)	115
「プリインストールされている」ソフトウェアと	
	115
「サードパーティ製」ソフトワェ子と周辺機器の定義	115
FCC の通達(アメリカ合衆国のみ)	116
FCC クラス B	116
デルへのお問い合わせ............................	117
用語集	119

### 8 | 目次

## 情報の検索方法

メモ:一部の機能やメディアはオプションなので、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。

メモ:追加の情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

#### 何をお探しですか?

#### こちらをご覧ください

- コンピュータの診断プログラム
- コンピュータのドライバ
- デバイスのマニュアル
- デスクトップシステムソフトウェア (DSS)

『Drivers and Utilities CD』(『ResourceCD』 とも呼ばれます)

**メモ:** 『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、 同梱されていないコンピュータもあります。

マニュアルおよびドライバは、コンピュータにプリイ ンストールされています。この CD を使用して、ドラ イバの再インストール(60 ページの「ドライバの再イ ンストール」を参照)、Dell Diagnostics(診断)の実 行(57 ページの「Dell Diagnostics(診断)プログラ ム」を参照)、マニュアルへのアクセスができます。



CD に収録されている Readme ファイルには、 マニュアルの作成後にシ ステムに追加された変更 や、技術者や専門知識を お持ちのユーザーを対象 とするテクニカルリファ レンスなどが記載されて います。

**メモ**: ドライバとマニュアルのアップデートに関しては、support.jp.dell.com をご覧ください。

### 何をお探しですか?

- ・保証に関する情報
- 契約条項(米国内のみ)
- 安全にお使いいただくための注意
- 認可機関の情報
- ・快適な使い方
- エンドユーザーライセンス契約

### こちらをご覧ください

Dell™『製品情報ガイド』



コンピュータのセットアップ方法

セットアップ図



何をお探しですか?	こちらをご覧ください
<ul> <li>サービスタグとエクスプレスサービスコード</li> <li>Microsoft Windows ライセンスラベル</li> </ul>	<b>サービスタグと Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> ライセンス</b> これらのラベルは、お使いのコンピュータに貼付され ています(15 ページの「コンピュータの正面図」 を参照)。
	・サービスタグは、 <b>support.jp.dell.com</b> をご参照の際に、ま たはテクニカルサ ポートへのお問い合 わせの際に、コン ピュータの識別に使 用します。

 エクスプレスサービスコードを利用すると、 テクニカルサポートに通話が接続されます。

#### 何をお探しですか?

- 技術情報 Q & A 検索、トラブル解決ナビ、
   Diagnostics (診断) プログラム、インストール ガイド、お問い合わせの多い質問
- アップグレード メモリ、ハードドライブ、または OS などのコンポーネントに関するアップ グレード情報
- 各種サービスのご案内 サービスプラン、登録 内容変更申込、リサイクル・買取サービス、引 き取り修理状況確認など
- 参照資料 コンピュータのマニュアル、コン ピュータの設定の詳細情報、製品の仕様、およ びホワイトペーパー
- サービスおよびサポート サービスコールの 状況とサービス履歴、サービス契約
- ダウンロード 一 認定されたドライバ、パッチ、 およびソフトウェアのアップデート
- デスクトップシステムソフトウェア(DSS) OS をコンピュータに再インストールする場合 は、DSS ユーティリティも再インストールする 必要があります。DSS は、OS の重要な更新、 Dell<sup>™</sup> 3.5 インチ USB フロッピードライブ、 AMD<sup>™</sup> プロセッサ、オプティカルドライブ、 および USB デバイスのサポートを提供します。 DSS は、Dell コンピュータを正しく動作させる ために必要です。このソフトウェアは、お使い のコンピュータと OS を自動的に検知して、設 定に適した更新をインストールします。
- Windows XP の使い方
- プログラムとファイルの操作方法
- デスクトップのカスタマイズ方法

#### こちらをご覧ください

デルサポートサイト — support.jp.dell.com

**メモ:**お住まいの地域または事業区分を選択し、お近くのサポートサイトを表示します。

デスクトップシステムソフトウェアは、次の手順でダ ウンロードできます。

1 support.jp.dell.com にアクセスし、お住まいの地 域または事業区分を選択し、サービスタグを入力し ます。

- 2 各種ドライバ・ファームウェアダウンロード を選択 します。
- **3 OS** をクリックし、キーワード デスクトップシステム ソフトウェア を検索します。
- **メモ:** support.jp.dell.comのユーザーインタフェースは、 ユーザーの選択によって異なる場合があります。

Windows ヘルプとサポートセンター

- 1 スタート → ヘルプとサポート をクリックします。
- 2 問題に関連する用語や文節をボックスに入力して、 矢印アイコンをクリックします。
- 3問題に関連するトピックをクリックします。
- 4 画面に表示される指示に従ってください。

#### 何をお探しですか?

• OS の再インストール方法

#### こちらをご覧ください

『再インストール用 CD』

**メモ:** 『再インストール用 CD』はオプションなので、 同梱されていないコンピュータもあります。

OS はコンピュータにプリインストールされています。 OS を再インストールするには、『再インストール用 CD』を使用します(61 ページの「お使いの OS の復 元」を参照)。

**メモ:** コンピュータに OS を再インストールする場合 は、ドライバをインストールする前に DSS ユーティリ ティを再インストールする必要があります。



OS を再インストールし た後、『*Drivers and Utilities* CD』 (『*Resource*CD』)を 使用して、コンピュータ に付属しているデバイス 用のドライバを再インス トールします。

**OS**の Product Key (プロダクトキー) ラベ ルは、コンピュータに貼 付されています。

**メモ:** CD の色はご注文になった OS によって異なります。

# コンピュータのセットアップと使い方

コンピュータの正面図



3	FlexBay ドライブ	オプションのフロッピードライブまたはオプションのメ ディアカードリーダーを装着できます。メディアカード リーダーの使い方については、28 ページの「メディア カードリーダー(オプション)の使い方」を参照し てください。
4	CD/DVD 動作ライト	ドライブライトは、コンピュータが CD または DVD ドライブからデータを読み取る際に点灯します。
5	CD または DVD 取り出し ボタン	このボタンを押して、CD または DVD ドライブからディ スクを取り出します。
6	マイクコネクタ	マイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラム に入力します。
7	ヘッドフォンコネクタ	ヘッドフォンコネクタを使用して、ヘッドフォンやほとん どの種類のスピーカーを接続できます。
8	診断ライト(4)	診断ライトは、診断コードを基にコンピュータの問題を解決するのに役立ちます。詳細については、53ページの「電源ライトと診断ライト」を参照してください。
9	USB 2.0 コネクタ(2)	ジョイスティックやカメラ、または起動可能な USB デバ イスなど、時々接続するデバイスには、前面 USB コネク タを使用します(USB デバイスの起動についての詳細は、 105 ページの「セットアップユーティリティのオプショ ン」を参照してください)。 プリンタやキーボードなど通常接続したままのデバイスに は、背面の USB コネクタを使用することをお勧めします。
10	電源ボタン	このボタンを押して、コンピュータに電源を入れます。
		注意:データの損失を防ぐため、電源ボタンを使用 してコンピュータの電源を切らないでください。電 源ボタンを押さずに、OSのシャットダウンを実行し てください。
11	ハードドライブ動作ライト	ハードドライブ動作ライトは、コンピュータがハードドライ ブからデータを読み取るか、またはハードドライブにデータ を書き込む際に点灯します。このライトは、CD プレーヤー などのデバイスの動作中にも点灯することがあります。

12	通気孔	十分な冷却効果が得られるよう、通気孔を塞がないように してください。
		▶ 注意:すべての通気孔とその付近にある物の間に、 少なくとも5 cmのスペースがあることを確認してく ださい。
		注意:通気孔の部分は常にきれいにしてほこりが付かないようにし、システムの通気を確保してください。システムが水によって損傷するのを避けるため、通気孔の部分をクリーニングする際は乾いた布だけを使用してください。

## コンピュータの背面図



1	電圧選択スイッチ	詳細については、『製品情報ガイド』に記載されている安全にお使いいた だくための注意を参照してください。
2	電源コネクタ	電源ケーブルを差し込みます。
3	背面パネル I/O コネクタ	シリアル、USB、およびその他のデバイスのプラグを対応するコネクタに差 し込みます(18 ページの「背面パネルの I/O コネクタ」を参照)。
4	カードスロット(3)	拡張カード用のアクセスコネクタスロットは、次のとおりです。 • SLOT1 PCI Express x16 • SLOT2 PCI Express x1 • SLOT3 PCI

## 背面パネルの I/0 コネクタ



1	リンク保全ライト	<ul> <li>緑色 — 10 Mbps のネットワークとコンピュータが正しく接続されている</li> </ul>
		ことを示します。

- 橙色 100 Mbps のネットワークとコンピュータが正しく接続されている ことを示します。
- 消灯 ネットワークとの物理的な接続が検知されていません。
- 2 ネットワークアダプタ コネクタ 2 ネットワークコネクタにモデムケーブルを接続しないでくだ さい。
- ネットワークアダプタコネクタは、コンピュータをネットワークまたはブ ロードバンドデバイスに接続するために使用してください。ネットワーク ケーブルの一端をネットワークジャック、ネットワークデバイス、ブロー ドバンドデバイスのいずれかに接続し、もう一端をコンピュータのネット ワークアダプタコネクタに接続します。カチッという音がすれば、ネット ワークケーブルはしっかり接続されています。

追加のネットワークコネクタカードが搭載されたコンピュータで、イント ラネットとエクストラネットを別々にするなど、複数のネットワーク接続 を設定する場合は、カードのコネクタとコンピュータ背面のコネクタを使 用します。

★モ:ネットワークには、カテゴリ5の配線とコネクタを使用することをお 勧めします。カテゴリ3の配線を使用する必要がある場合、信頼性のあるオ ペレーションを保証するために、ネットワーク速度を10 Mbps に設定してく ださい。

3	ネットワーク動作	黄色のライトは、コンピュータがネットワークデータを送信、または受信
	ライト	している際に点滅します。ネットワークトラフィックが多い場合、このラ
		イトが「点灯」の状態に見えることがあります。

4 サラウンドサウンドコ 黒いサラウンドサウンドコネクタを使用して、マルチチャネル対応スピー ネクタ カーを接続します。

> サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのコネクタを 使用します。

5	ライン入力コネクタ	青色のライン入力コネクタにカセットプレーヤー、CD プレーヤー、また は VCR(ビデオカセットレコーダー)などの録音 / 再生デバイスを接続し ます。
		サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのコネクタを 使用します。
6	ライン出力ヘッドフォ ンコネクタ	ライン出力コネクタ(緑色)にヘッドフォンやほとんどのアンプ内蔵型ス ピーカーを接続します。
		サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのコネクタを 使用します。
7	マイクコネクタ	桃色のマイクコネクタにパーソナルコンピュータ用マイクを接続し、 音声や音楽をサウンドまたはテレフォニープログラムに入力します。
		サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのコネクタを 使用します。
8	センター / サブウー ハー LFE コネクタ	橙色のセンター / サブウーハーコネクタを使用して、センタースピーカー またはシングルサブウーハーを取り付けます。
		サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのコネクタを 使用します。
		<b>メモ:</b> デジタルサラウンドサウンドオーディオ方式で使用される LFE(低周 波数効果)オーディオチャンネルは、80 Hz 以下の低周波数情報のみを搬送し ます。LFE チャネルでは、超低音を引き伸ばすサブウーハーが使用されます。 サブウーハーを使用しないシステムでは、LFE 情報をサラウンドサウンド設定 のメインスピーカーに分流できます。
9	サイドサラウンドサウ ンドコネクタ	灰色のサイドサラウンドサウンドコネクタを使用して、マルチチャネル対応スピーカーを接続します。7.1 ch スピーカーを備えたコンピュータの場合は、サイドサラウンド出力によりエンハンストサラウンドオーディオが提供されます。
		サウンドカードが搭載されたコンピュータの場合は、カードのコネクタを 使用します。
10	USB 2.0 コネクタ(4) (背面クワッド)	プリンタやキーボードなど、通常接続したままのデバイスには、背面クワッド (=4個) USB コネクタを使用します。
		メモ:ジョイスティック、カメラ、または起動可能なUSBデバイスなど、時々接続するデバイスには、前面USBコネクタを使用することをお勧めします。
11	VGA ビデオコネクタ	お使いのモニターに VGA コネクタがある場合は、そのコネクタをコンピュー タの VGA コネクタに差し込みます。

## プリンタのセットアップ

▶ 注意:プリンタをコンピュータに接続する前に、OSのセットアップを完了してください。 次の手順を含むセットアップについての情報は、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- アップデートドライバの入手方法とインストールの仕方
- プリンタとコンピュータの接続方法
- 給紙の仕方とトナーまたはインクカートリッジの取り付け方

テクニカルサポートを利用するには、プリンタのオーナーズマニュアルを参照するか、プリンタの 製造元にお問い合わせください。

### プリンタケーブル

お使いのプリンタは、USB ケーブルを使用してコンピュータに接続します。プリンタにはプリンタ ケーブルが付属されていない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタと互換性が あることを確認してください。コンピュータと一緒にプリンタケーブルを購入された場合、ケーブ ルはコンピュータの箱に同梱されていることがあります。

#### USB プリンタの接続

- ✓ メモ: USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態でも、接続することができます。
- **1** OS をまだセットアップしていない場合は、セットアップを完了します。
- USB プリンタケーブルをコンピュータとプリンタの USB コネクタに取り付けます。
   USB コネクタは決まった方向にだけ差し込めるようになっています。



- 1 コンピュータの USB 2 USB プリンタケーブル 3 プリンタの USB コネクタ コネクタ
- 3 プリンタの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。新しいハードウェアの追加 ウィザード ウィンドウが表示されたら、キャンセル をクリックします。
- **4** 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照 してください。

## インターネットへの接続

メモ: ISP および ISP が提供するオプションは、国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などの ISP (インターネットサービスプロバイダ)との契約が必要です。ISP は、以下のうち 1 つまたは複数 のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイアルアップ接続。ダイアルアップ接続は、DSLやケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、 インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- 既存のケーブル TV 回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム 接続。

ダイアルアップ接続をお使いの場合は、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。DSL またはケーブルモデム 接続をお使いの場合、セットアップ手順についてはご利用の ISP にお問い合わせください。

### インターネット接続のセットアップ

提供されている ISP のデスクトップショートカットを使用してインターネット接続をセットアップ するには、以下の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> デスクトップにある ISP のアイコンをダブルクリックします。
- 3 画面の指示に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに ISP のアイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセット アップする場合は、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- スタート ボタンをクリックして、Internet Explorer をクリックします。
   新しい接続ウィザード が表示されます。
- 3 インターネットに接続する をクリックします。
- 4 次のウィンドウで、該当するオプションをクリックします。
  - ISP と契約されておらず、その1つを選びたい場合は、インターネットサービスプロバイ ダ(ISP)の一覧から選択するをクリックします。
  - お客様の ISP からセットアップ情報を入手済みであるがセットアップ CD をお持ちでない 場合は、接続を手動でセットアップする をクリックします。
  - CD をお持ちの場合は、ISP から提供された CD を使用する をクリックします。

5 次へをクリックします。

接続を手動でセットアップするを選んだ場合は、手順6に進みます。それ以外の場合は、 画面の手順に従ってセットアップを完了してください。

- ✓ メモ:どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。
- 6 インターネットにどう接続しますか? で該当するオプションをクリックしてから、次へ をク リックします。
- 7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

インターネットにうまく接続できない場合は、38 ページの「E-メール、モデム、およびインター ネットの問題」を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続でき ない場合は、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認 するか、後でもう一度接続してみてください。

### CD および DVD の再生方法

- ◆ 注意: CD または DVD のトレイを開閉する場合は、トレイの上から力を掛けないでください。 ドライブを使用しないときは、トレイを閉じておいてください。
- 🕞 注意:CD や DVD を再生しているときに、コンピュータを動かさないでください。
- 1 ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。
- 2 トレイの中心に、ラベルの付いている面を上にしてディスクを置きます。
- 3 ディスクをトレイの中央の所定の位置にカチッと収まるまで押し込みます。



4 取り出しボタンを押すか、トレイを優しく押し込みます。

データ保存のための CD フォーマット、ミュージック CD の作成、CD のコピーについては、 コンピュータに付属の CD ソフトウェアを参照してください。 ダモ: CD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。 CD プレーヤーは次のようなボタンを使用して操作します。

	再生
•	現在のトラック内での巻き戻し
	一時停止
•	現在のトラック内での早送り
	停止
<b>H</b>	直前のトラックに戻る
	取り出し
₩	直後のトラックに進む

DVD プレーヤーは次のようなボタンを使用して操作します。

	停止
P	現在の章の再スタート
	再生
*	早送り
U	一時停止
••	巻き戻し
▶	ー時停止モードでのコマ送り
H	直後のタイトルまたは章へ進む
$\mathbf{O}$	現在のタイトルまたは章のくり返し
••	直前のタイトルまたは章へ戻る
	取り出し

CD または DVD の再生については、CD または DVD プレーヤーの ヘルプ(利用可能な場合) をクリックしてください。

#### ボリュームの調整

- ✓ メモ:スピーカーが無音(ミュート)に設定されている場合は、CD または DVD の音声を聞くことができません。
- 1 スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム→ アクセサリ → エンターテイメント の順 にポイントしてから、ボリュームコントロール をクリックします。
- 2 ボリュームコントロール ウィンドウで、ボリュームコントロール の列にある音量つまみを上下にスライドさせてボリュームを調整します。

ボリュームコントロールオプションの詳細については、**ボリュームコントロール** ウィンドウの **ヘル プ** をクリックしてください。

#### 画像の調整

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎて DVD を再生できません、というエラーメッセージが表示される場合は、画面のプロパティで画像設定を調節します。

- 1 スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- 2 作業する分野を選びます で、デスクトップの表示とテーマ をクリックします。
- 3 作業する分野を選びます で、画面解像度を変更する をクリックします。
- 4 画面のプロパティ ウィンドウで、画面の解像度 にあるつまみをクリックしてドラッグし、 800 x 600 ピクセル に設定します。
- 5 画面の色にあるドロップダウンメニューをクリックして、中(16 ビット)をクリックします。
- 6 **OK** をクリックします。

### CD および DVD のコピー

✓ メモ: CD または DVD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

本項は CD-RW、DVD+/-RW、または CD-RW/DVD(コンボ)ドライブを備えたコンピュータだけに 適用されます。

メモ:デルにより提供される CD または DVD ドライブのタイプは国により異なることがあります。

以下の手順では、Roxio Creator Plus - Dell Edition を使用して CD または DVD を完全にコピーする 方法について説明します。コンピュータに保存されたオーディオファイルから音楽 CD を作成した り、重要なデータをバックアップするなど、別の目的で Roxio Creator Plus を使用することもでき ます。ヘルプに関しては、Roxio Creator Plus を開き、ウィンドウの右上にある疑問符(?)アイコ ンをクリックしてください。

### CD または DVD のコピーの仕方

✓ **メモ**: CD-RW/DVD コンボドライブでは、DVD メディアに書き込むことはできません。CD-RW/DVD コ ンボドライブで書き込み中に問題が生じた場合は、Sonic サポートウェブサイト www.sonicjapan.co.jp/support で使用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

Dell コンピュータに取り付けられている DVD 書き込み可能ドライブは、DVD+/-R、DVD+/-RW、 および DVD+R DL(デュアルレイヤ)メディアに対しては書き込みと読み取りを行いますが、 DVD-RAM または DVD-R DL メディアに対しては書き込みを行わず、読み取りも行わない可能性が あります。

- ✓ メモ:市販の DVD のほとんどは著作権が保護されているので、Roxio Creator Plus を使用してコピーすることはできません。
- 1 スタート をクリックして、すべてのプログラム → Roxio→ Creator Projects とポイントして、 RecordNow Copy をクリックします。
- 2 **コピー** タブで、ディスクコピー をクリックします。
- 3 CD または DVD をコピーするには、次の手順を実行します。
  - CD または DVD ドライブが 1 台しかない場合は、設定が正しいことを確認し、ディスクコ ピー をクリックします。ソースの CD や DVD が読み取られ、データがコンピュータのハー ドドライブにある一時フォルダにコピーされます。
     プロンプトが表示されたら、空の CD または DVD をドライブに挿入して、OK をクリック します。
  - CD または DVD ドライブが 2 台ある場合は、ソース CD または DVD を入れたドライブを 選択し、ディスクコピー をクリックします。ソースの CD や DVD のデータが空の CD や DVD にコピーされます。

ソース CD または DVD のコピーが終了すると、作成された CD または DVD は自動的に出てきます。

#### 空の CD および DVD の使い方

CD-RW ドライブでは CD 記録メディア(高速 CD-RW メディアを含む)にしか書き込みができませんが、DVD 書き込み可能ドライブでは CD と DVD の両方の記録メディアに書き込みができます。

音楽や永久保存データファイルを記録するには、空の CD-R を使用します。CD-R の最大ストレージ 容量に達すると、その CD-R には再度書き込むことができません(詳細については、Sonic のマニュ アルを参照してください)。CD の情報を後で消去、上書き、またはアップデートするには、空の CD-RW を使用してください。

空の DVD+/-R は、大量の情報を永久保存することができます。DVD+/-R ディスクを作成した後、 ディスクを作成するプロセスの最終段階でそのディスクが「ファイナライズ」または「クローズ」 された場合は、そのディスクに再度書き込みができないことがあるかもしれません。後でディスク にある情報を消去、再書き込み、または更新する場合は、空の DVD+/-RW を使用してください。

CD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	再書き込み
CD-R	0	0	X
CD-RW	0	0	0

DVD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	再書き込み
CD-R	0	0	×
CD-RW	0	0	0
DVD+R	0	0	×
DVD-R	0	0	×
DVD+RW	0	0	0
DVD-RW	0	0	0
DVD+R DL	0	0	×

### 便利なヒント

- Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW にドラッグ & ドロッ プする場合は、まず Roxio Creator Plus を開始して Creator プロジェクトを開いてください。
- コピーしたミュージック CD を一般的なステレオで再生するには、CD-R を使用してください。
   CD-RW はほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオで再生できません。
- Roxio Creator Plus を使用して、オーディオ DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストール されたコンピュータでのみ再生できます。
- ホームシアターシステムで使用される市販の DVD プレーヤーは、使用可能な DVD フォーマットをすべてサポートしているとは限りません。お使いの DVD プレーヤーでサポートされているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤーに付属のマニュアルを参照するか、または製造元にお問い合わせください。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファ イルを容量が 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最 終段階で1~2 MB のブランクスペースを必要とします。
- CD への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。また、空の CD-R に音楽ファイルプロジェクトを永久記録する前にプロジェクトをテストする場合にも、空の CD-RW を使用してください。
- 詳細に関しては、Sonic ウェブサイト www.sonicjapan.co.jp を参照してください。

## メディアカードリーダー(オプション)の使い方

メディアカードリーダーを使用して、データを直接コンピュータに転送します。 メディアカードリーダーは、以下のメモリタイプをサポートしています。

- xD ピクチャーカード
- SmartMedia (SMC)
- コンパクトフラッシュタイプ | および || (CF I/II)
- マイクロドライブカード
- SD カード
- マルチメディアカード (MMC)
- メモリスティック (MS/MS Pro)

メディアカードリーダーの取り付け方法の詳細については、90ページの「メディアカードリーダー」 を参照してください。



- 1 xD ピクチャーカードおよびスマ ートメディア(SMC)
- 3 メモリスティック(MS/MS Pro)
- 2 コンパクトフラッシュタイプ | および || ( CF I/II) およびマイクロドライブカード
  - 4 SD カード / マルチメディアカード
- メディアカードリーダーを使用するには、次の手順を実行します。
- 1 メディアまたはカードをチェックして、適切な挿入の方向を確認します。
- 2 メディアまたはカードを該当するスロットに差し込み、コネクタに完全に装着します。 メディアまたはカードがきちんと入らない場合は、無理に押し込まないでください。 カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。
- 28 | コンピュータのセットアップと使い方

## 家庭用および企業用ネットワークのセットアップ

#### ネットワークアダプタへの接続

- 注意:ネットワークケーブルをコンピュータのネットワークアダプタコネクタに差し込みます。 ネットワークケーブルをコンピュータのモデムコネクタに差し込まないでください。
- 注意:ネットワークケーブルを壁の電話ジャックに差し込まないでください。
- 1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。 ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、 ケーブルの接続を確認します。
- 2 ネットワークケーブルのもう一方の端をネットワークデバイスに接続します。



 1
 ネットワークデバイス
 3
 ネットワークアダプタコネクタ

 2
 ネットワークケーブル
 4
 コンピュータ背面のネットワークコネクタ

### ネットワークセットアップウィザード

Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> XP OS には、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、 またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザード があります。

- 1 スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム → アクセサリ→ 通信 の順にポイントして、ネットワークセットアップウィザード をクリックします。
- 2 ネットワークセットアップウィザードの開始 画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 ネットワーク作成のチェックリスト をクリックします。
  - ✓ メモ:インターネットに直接接続しているという接続方法を選択すると、Windows XP に設置されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。
- 4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
- 5 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

### 電力の管理

Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> XP の電力管理機能を使うと、電源の入っているコンピュータで操作していないときにコンピュータが消費する電力を節約することができます。モニターやハードドライブへの電力だけを節約することができたり、スタンバイモードや休止状態モードを使ってコンピュータ全体の電力を節約することもできます。コンピュータが省電力モードから通常の動作状態に戻ると、Windows デスクトップは省電力モードに入る前と同じ状態に戻ります。

メモ: Windows XP Professional には、Windows XP Home Edition では利用できないセキュリティおよび ネットワーキング機能が含まれています。Windows XP Professional が動作しているコンピュータがネッ トワークに接続されている場合は、セキュリティおよびネットワーキングに関する特定のウィンドウ では、表示される項目が異なります。

### スタンバイモード

スタンバイモードは、タイムアウトになるとディスプレイとハードドライブの電源を切ることによって 電力を節約します。スタンバイモードから終了すると、コンピュータはスタンバイモードに入る前 と同じ動作状態に戻ります。

あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないと自動的にスタンバイモードが起動する よう設定するには、次の手順を実行します。

- 1 スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- 2 コントロールパネル ウィンドウの左側に カテゴリの表示に切り替える が表示された場合は、 カテゴリの表示に切り替える をクリックします。
- 3 作業する分野を選びます で、パフォーマンスとメンテナンス をクリックします。
- 4 コントロールパネルを選んで実行します で、電源オプション をクリックします。
- 5 電源設定 タブで、ドロップダウンボックス内の設定を希望の設定に変更し、OK をクリックします。

ー定時間コンピュータを操作しない時間をおかずに、スタンバイモードをすぐに起動するには、 スタート ボタンをクリックし、終了オプション をクリックして、スタンバイ をクリックします。 スタンバイモードを終了するには、キーボードのキーを押すか、マウスを動かします。

注意:スタンバイモードのときにコンピュータの電源が切れると、データを損失するおそれがあります。

#### 休止状態モード

休止状態モードでは、システム情報をハードドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。コンピュータが休止状態モードから通常の動作状態に戻ると、デスクトップは休止状態モードに入る前と同じ状態に戻ります。

休止状態モードを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- 2 作業する分野を選びます で、パフォーマンスとメンテナンス をクリックします。
- 3 コントロールパネルを選んで実行します で、電源オプション をクリックします。
- 4 電源設定 タブ、詳細設定 タブ、および 休止状態 タブで休止状態の設定を行います (31ページの「電源オプションのプロパティ」を参照)。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動 作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーボードのキーを押したり、マウスを動 かしても、コンピュータは休止状態モードから復帰しません。これは、コンピュータが休止状態モー ドのときは、キーボードやマウスが動作しないためです。

休止状態モードでは、ハードドライブにコンピュータのメモリの内容を格納するための十分な空き ディスク容量を確保する必要があります。お使いのコンピュータには、出荷前に適切な大きさの休止 状態モードファイルが作成されています。コンピュータのハードドライブが破損した場合、Windows XP では休止状態ファイルを自動的に再作成します。

## 電源オプションのプロパティ

スタンバイモード設定、休止状態モード設定、および他の電源設定は、電源オプションのプロパ ティウィンドウで行います。電源オプションのプロパティウィンドウを表示するには、次の手順を 実行します。

- 1 スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- 2 作業する分野を選びます で、パフォーマンスとメンテナンス をクリックします。
- 3 コントロールパネルを選んで実行します で、電源オプション をクリックします。
- 4 電源設定 タブ、詳細設定 タブ、および 休止状態 タブで電源設定を行います。

### 電源設定タブ

各標準の電源設定のことを、スキームと呼びます。お使いのコンピュータにプリインストールされている標準のWindowsスキームを選択するには、電源設定ドロップダウンメニューから設定を選びます。各電源設定の下のフィールドに設定が表示されます。設定済みの電源設定には、コンピュータをスタンバイモードまたは休止状態モードにする、モニターの電源を切る、ハードドライブの電源を切る、といったそれぞれ異なるタイムアウト設定があります。

電源設定 ドロップダウンメニューには以下のような電源設定が表示されます。

- 常にオン(デフォルト) 電力を節約しないでコンピュータをお使いになる場合。
- **自宅または会社のデスク** ご家庭または会社でお使いのコンピュータで最小限の省電力が必要な場合。
- ポータブル / ラップトップ 移動中に使用するポータブルコンピュータの場合。
- プレゼンテーション 中断されることなく(節電機能を使わずに)コンピュータをお使いに なる場合。
- 最小の電源管理 節電機能を最小限しか使わずにコンピュータを使用する場合。
- バッテリの最大利用 ノートブックコンピュータを長時間バッテリーでお使いになる場合。

デフォルトの電源設定を変更する場合は、モニタの電源を切る、ハードディスクの電源を切る、 システムスタンバイ、またはシステム休止状態のフィールドにあるドロップダウンメニューをク リックし、表示された一覧からタイムアウトを選びます。設定フィールドのタイムアウトを変更す ると、そのスキームのデフォルト設定が変更されます。名前を付けて保存をクリックし、変更した 設定に新しい名前を入力しない限り、変更後の設定は変わりません。

注意:ハードドライブ(ハードディスク)がモニターより先にタイムアウトになるよう設定すると、 コンピュータがフリーズしたように見えることがあります。通常の動作状態に戻すには、キーボード の任意のキーを押すか、マウスをクリックします。この問題を回避するには、モニターを常にハード ドライブより前にタイムアウトになるよう設定します。

#### 詳細設定タブ

詳細設定 タブでは次のことができます。

- すばやくアクセスできるように、電源オプションアイコン いた を Windows のタスクバーに 配置する。
- コンピュータがスタンバイモードまたは休止状態モードから復帰する前に、Windowsのパス ワードの入力を求めるように設定する。
- スタンバイモードまたは休止状態モードの起動、あるいはコンピュータの電源を切るよう、 電源ボタンを設定する。

これらの機能を設定するには、対応するドロップダウンメニューからオプションを選択して、 OK をクリックします。

### 休止状態タブ

休止状態 タブで、休止状態モードを有効にします。電源設定 タブで指定した休止状態設定を使用す る場合は、休止状態 タブで 休止状態を有効にする チェックボックスをクリックします。 電力管理オプションの詳細については、次の手順を実行します。

- **1 スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **ヘルプとサポート** ウィンドウで パフォーマンスと保守 をクリックします。
- 3 パフォーマンスと保守 ウィンドウで、コンピュータの電力を節約する をクリックします。

### Cool 'n' Quiet™ テクノロジの有効化

Cool 'n' Quiet テクノロジは、当面のタスクに応じて動作周波数や電圧を動的に調整することで、 プロセッサのパフォーマンスを自動的に制御します。最大限のパフォーマンスを必要としないアプ リケーションを使用する場合に、電力を大幅に節約できます。パフォーマンスが制御された状態で も操作に対する反応は十分にあり、必要時にはプロセッサのパフォーマンスが最大になり、可能な 場合は自動的に節電されます。

- セットアップユーティリティを起動し、Power Management(電力の管理)グループから Cool and Quiet (Cool 'n' Quiet)を選択し、設定を On(オン)に変更します (105 ページの「セットアップユーティリティのオプション」を参照)。
- 2 スタート → 設定 → コントロールパネル → 電源オプション の順にクリックして、 電源オプションのプロパティ ウィンドウを開きます。
- 3 電源設定 タブで、電源設定のドロップダウンメニューをクリックし、最小の電源管理 を選択 して OK をクリックします。

これで Cool 'n' Quiet テクノロジが有効に設定されました。

### 34 | コンピュータのセットアップと使い方

# 問題の解決

## トラブルシューティングのヒント

コンピュータのトラブルシューティングを実行する際は、以下のヒントに従ってください。

- 部品を追加したり取り外した後に問題が発生した場合は、取り付け手順を見直して、 部品が正しく取り付けられているか確認します。
- 周辺機器が機能しない場合は、その機器が正しく接続されているか確認します。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合は、メッセージを正確にメモします。このメッ セージは、テクニカルサポート担当者が問題を診断して修復するのに役立ちます。
- プログラムの実行中にエラーメッセージが表示される場合は、プログラムのマニュアルを 参照してください。

## バッテリーの問題

- 警告:バッテリーの取り付け方が間違っていると、破裂する危険があります。交換するバッテ リーは、デルが推奨する型、または同等の製品をご利用ください。使用済みのバッテリーは、 製造元の指示に従って廃棄してください。

バッテリーを交換します — コンピュータの電源を入れた後、繰り返し時刻と日付の情報をリ セットする必要がある場合、または起動時に間違った時刻や日付が表示される場合は、バッテ リーを交換します(96ページの「バッテリー」を参照)。交換してもバッテリーが正常に作動 しない場合は、デルにお問い合わせください(117ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

## ドライブの問題

# 警告: 『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

#### ドライブが MICROSOFT<sup>®</sup> WINDOWS<sup>®</sup> によって認識されていることを確認します ―ス

**タート**ボタンをクリックして、マイコンピュータをクリックします。お使いのフロッピードラ イブ、CD ドライブ、または DVD ドライブが一覧に表示されない場合は、アンチウイルスソフ トウェアでウイルスチェックを行い、ウイルスの検出と除去を行います。ウイルスが原因で Windows がドライブを認識できないことがあります。

#### ドライブのテストを行います —

- 元のフロッピーディスク、CD、または DVD に問題がないか確認するため、別のディスクを挿入します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

**ドライブまたはディスクをクリーニングします** — 113 ページの「コンピュータのクリーニング」を参照してください。

#### ケーブル接続を確認します ―

**ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します** — 61 ページの「ソフトウェ アとハードウェアの非互換性の問題を解決するには」を参照してください。

**DELL DIAGNOSTICS (診断) プログラムを実行します** — 57 ページの「Dell Diagnostics (診断) プログラム」を参照してください。
### CD および DVD ドライブの問題

- メモ:高速 CD または DVD ドライブの振動は正常です。この振動によってノイズが生じることがありますが、ドライブの欠陥や CD または DVD の欠陥を示すものではありません。
- メモ:国や地域によってディスクフォーマットが異なるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

#### WINDOWS のボリュームを調整します —

- ・
   画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックします。
- スライドバーをクリックし、上にドラッグして、音量が上がることを確認します。
- サウンドがミュートに設定されていないか確認し、設定されている場合はチェックマークの付いたボックスをクリックします。

スピーカーおよびサブウーハーを確認します — 49 ページの「サウンドおよびスピーカーの問題」を参照してください。

#### CD/DVD-RW ドライブに書き込みができない場合

その他のプログラムを閉じます — CD/DVD-RW ドライブは、データを書き込む際に一定の データの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD/DVD-RW への書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

CD/DVD-RW ディスクに書き込む前に、WINDOWS のスタンバイモードをオフにします — 1スタート ボタンをクリックし、コントロールパネル をクリックします。 2 作業する分野を選びます にある パフォーマンスとメンテナンス をクリックします。 3 コントロールパネルを選んで実行します で、電源オプション をクリックします。 4 電源設定 タブで、常にオン を選択します。

#### ハードドライブの問題

チェックディスクを実行します —
1スタート ボタンをクリックして、マイコンピュータ をクリックします。
2ローカル ディスク(C:) を右クリックします。
3プロパティ をクリックします。
4ツール タブをクリックします。
5 エラーチェック の項目で、チェックする をクリックします。
6 不良なセクタをスキャンし、回復する をクリックします。
7 開始 をクリックします。

# E- メール、モデム、およびインターネットの問題

MICROSOFT OUTLOOK<sup>®</sup> EXPRESS のセキュリティ設定を確認します — E-メールの添付ファイルを開くことができない場合は、次の操作を行ってください。

1 Outlook Express で、ツール、オプション とクリックして、セキュリティ をクリックします。 2 添付ファイルを許可しない をクリックしてチェックマークを外します。

電話線の接続を確認します — 電話ジャックを確認します — モデムを直接電話ジャックへ接続します — 他の電話線を使用してみます —

- 電話線がモデムのジャックに接続されているか確認します(ジャックは緑色のラベル、 もしくはコネクタの絵柄の横にあります)。
- 電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッという感触が得られることを確認します。
- モデムから電話線を外して、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど、同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話を使ってモデムを直接壁の電話ジャックに接続します。
   3 m 以内の電話線を使用します。

MODEM HELPER 診断プログラムを実行します — スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム をポイントして、Modem Helper をクリックします。画面の指示に従って、モデムの問題を識別して、その問題を解決します(Modem Helper を利用できないコンピュータもあります)。

モデムが Windows と通信しているか確認します ―

1スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。

- 2 プリンタとその他のハードウェア をクリックします。
- 3 電話とモデムのオプション をクリックします。
- 4 モデム タブをクリックします。
- 5 モデムの COM ポートをクリックします。
- 6 Windows がモデムを検出したか確認するため、プロパティ をクリックし、診断 タブをクリックして、モデムの照会 をクリックします。

すべてコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

# エラーメッセージ

メッセージが一覧にない場合は、メッセージが表示されたときに実行していた OS またはプログラムのマニュアルを参照してください。

A FILENAME CANNOT CONTAIN ANY OF THE FOLLOWING CHARACTERS:\/:\*?"<> | - これらの 文字はファイル名には使用しないでください。

A REQUIRED .DLL FILE WAS NOT FOUND— アプリケーションプログラムに必要なファイルがありません。次の操作を行い、アプリケーションプログラムを削除して再インストールします。

- 1 スタート ボタンをクリックし、コントロールパネル をクリックして、プログラムの追加と削除 をクリックします。
- 2 削除するプログラムを選択します。
- 3 プログラムの変更と削除 アイコンをクリックします。
- 4インストール手順については、プログラムに付属のマニュアルを参照してください。

*drive letter*: \ IS NOT ACCESSIBLE. THE DEVICE IS NOT READY— ドライブがディスクを読み取る ことができません。ディスクをドライブに挿入して、再度試してみます。

INSERT BOOTABLE MEDIA— 起動フロッピーディスクまたは CD を挿入します。

NON-SYSTEM DISK ERROR— ドライブからフロッピーディスクを取り出し、コンピュータを再起動します。

NOT ENOUGH MEMORY OR RESOURCES. CLOSE SOME PROGRAMS AND TRY AGAIN— すべてのウィン ドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。場合によっては、コンピュータを再起動し てコンピュータリソースを復元する必要があります。その場合、最初に使用したいプログラム を実行します。

**OPERATING SYSTEM NOT FOUND**— デルにお問い合わせください(117 ページの「デルへのお問い 合わせ」を参照)。

# キーボードの問題

⚠️警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

キーボードケーブルを確認します —

- キーボードケーブルがコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。
- コンピュータをシャットダウンし(65ページの「コンピュータの電源を切る方法」を参照)、 キーボードケーブルをコンピュータのセットアップ図に示されているように接続しなおし、 コンピュータを再起動します。
- ケーブルに損傷がないか、擦り切れていないか、ケーブルコネクタのピンが曲がったり壊れて いたりしないかを確認します。曲がったピンがあればまっすぐにします。
- キーボード延長ケーブルを取り外し、キーボードを直接コンピュータに接続します。

キーボードをテストします — 正常に機能している他のキーボードをコンピュータに接続して、使用してみます。

**ハードウェアに関するトラブルシューティングを実行します** — 61 ページの「ソフトウェ アとハードウェアの非互換性の問題を解決するには」を参照してください。

# フリーズおよびソフトウェアの問題

警告: 『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

コンピュータが起動しない

診断ライトを確認します --- 53 ページの「電源ライトと診断ライト」を参照してください。

電源ケーブルがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します —

#### コンピュータが応答しない

注意:OSのシャットダウンが実行できない場合、データを損失するおそれがあります。

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコン ピュータから応答がない場合は、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを8~10秒以 上押し続けます。電源が切れたら、コンピュータを再起動します。

#### プログラムを終了します ―

1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押します。
2 アプリケーション をクリックします。
3 反応がなくなったプログラムをクリックします。
4 タスクの終了 をクリックします。

### プログラムが繰り返しクラッシュする

メモ:通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディ スクか CD に収録されています。

**ソフトウェアのマニュアルを参照します** — 必要に応じて、プログラムをアンインストールして、再インストールしてください。

### プログラムが以前の Windows OS 向けに設計されている

#### プログラム互換性ウィザードを実行します —

プログラム互換性ウィザードは、Windows XP 以外の OS の環境に似た環境で動作するように プログラムを設定します。

1スタートボタンをクリックし、すべてのプログラム→アクセサリの順にポイントして、 プログラム互換性ウィザードをクリックします。

2 プログラム互換性ウィザードの開始 画面で、次へ をクリックします。

3 画面に表示される指示に従ってください。

### 画面が青色(ブルースクリーン)になった

**コンピュータの電源を切ります** - キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコン ピュータから応答がない場合は、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ~ 10 秒以 上押し続けます。電源が切れたら、コンピュータを再起動します。

### その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティングについて、ソフトウェアのマニュアルを確認するか、 ソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- コンピュータにインストールされている OS と互換性があるか確認します。
- コンピュータがソフトウェアの実行に必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムと競合していないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールして、再インストールしてください。

ファイルを直ちにバックアップします —

ウイルススキャンプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、 または CD を調べます —

開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了し て、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします —

# メディアカードリーダーの問題

#### ドライブ文字が割り当てられていません —

Microsoft Windows XP でメディアカードリーダーが検出されると、このデバイスには、システム内の他のすべての物理ドライブの後に、その次の論理ドライブとしてドライブ文字が自動的に割り当てられます。物理ドライブの後の次の論理ドライブがネットワークドライブに割り当てられた場合、Windows XP はメディアカードリーダーに自動的にドライブ文字を割り当てることはありません。

メディアカードリーダーに手動でドライブ文字を割り当てるには、以下の手順を実行します。

1マイコンピュータを右クリックして管理を選択します。

2 ディスクの管理 オプションを選択します。

- 3 右のペインで、変更する必要のあるドライブ文字を右クリックします。
- 4ドライブ文字とパスの変更を選択します。
- 5 ドロップダウンリストから、メディアカードリーダーに割り当てる新しいドライブ文字を選択します。
- 6 OK をクリックして選択内容を確定します。

**メモ:** メディアカードリーダーの各スロットがドライブ文字にマッピングされます。メディア カードリーダーのスロットは、メディアカードが取り付けられている場合にのみマップされたドラ イブとして表示されます。ドライブが空のメディアカードリーダーのスロットにマッピングされて いる場合、そのドライブにアクセスしようとすると、メディアを挿入するように求めるプロンプト が表示されます。

#### FLEXBAY デバイスが無効です —

BIOS セットアップには、FlexBay デバイスが取り付けられている場合のみ表示される FlexBay 無効オプションがあります。FlexBay デバイスが物理的に取り付けられているにもかかわらず動作していない場合は、BIOS セットアップで有効になっているかどうかを確認してください。

# メモリの問題

#### 

#### メモリが不足しているというメッセージが表示された場合 —

- 作業中のすべてのファイルを保存してから閉じ、使用していない実行中のプログラムをすべて 終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、メモリを増設します(70ページの「メモリ」を参照)。
- メモリモジュールを装着しなおし(70ページの「メモリ」を参照)、コンピュータがメモリと 正常に通信しているか確認します。
- Dell Diagnostics(診断) プログラムを実行します(57ページの「Dell Diagnostics (診断) プログラム」を参照)。

#### メモリにその他の問題がある場合 —

- メモリモジュールを装着しなおし(70ページの「メモリ」を参照)、コンピュータがメモリと 正常に通信しているか確認します。
- ・メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します(70ページの「メモリ」を参照)。
- コンピュータは、DDR2メモリをサポートしています。コンピュータでサポートされているメ モリタイプの詳細については、70ページの「メモリ」を参照してください。
- Dell Diagnostics(診断) プログラムを実行します(57ページの「Dell Diagnostics(診断) プログラム」を参照)。

### マウスの問題

マウスをクリーニングします — マウスをクリーニングする手順については、114ページの「マウス」を参照してください。

#### マウスケーブルを確認します ―

- 1マウス延長ケーブルを使用している場合は、拡張ケーブルを取り外してマウスをコンピュータ に直接接続します。
- 2マウスケーブルをお使いのコンピュータのセットアップ図に示されているように接続しなおします。

#### コンピュータを再起動します —

1 < Ctrl> < Esc> を同時に押して、スタート メニューを表示します。

- 2 u と入力してからキーボードの矢印キーを押して、シャットダウン または 終了オプション を選択して、<Enter> を押します。
- 3 コンピュータの電源が切れた後、マウスケーブルをお使いのコンピュータのセットアップ図に示されているように接続しなおします。

4コンピュータを起動します。

マウスを確認します — 正常に機能している他のマウスをコンピュータに接続して、使用してみます。

マウスの設定を確認します ―

1 スタート ボタンをクリックし、コントロール パネル をクリックして、プリンタとその他のハードウェア をクリックします。

2 マウス をクリックします。

3設定を変更してみます。

マウスドライバを再インストールします — 60 ページの「ドライバの再インストール」を参照してください。

**ハードウェアのトラブルシューティングを実行します** — 61 ページの「ソフトウェアと ハードウェアの非互換性の問題を解決するには」を参照してください。

# ネットワークの問題

∕⚠️ 警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

ネットワークケーブルコネクタを確認します — ネットワークケーブルがコンピュータ背面 のネットワークコネクタとネットワークポートまたはデバイスの両方に、しっかりと差し込ま れているか確認します。

コンピュータ背面のネットワークインジケータを確認します — リンク保全ライトが消灯 している場合は、ネットワーク通信が存在しないことを示しています。ネットワークケーブル を交換します。ネットワークインジケータの説明については、18ページの「背面パネルの I/O コネクタ」を参照してください。

コンピュータを再起動して、ネットワークに再度ログオンします —

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを 設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しく、ネットワークが正常 に機能しているか確認します。

**ハードウェアのトラブルシューティングを実行します** — 61 ページの「ソフトウェアと ハードウェアの非互換性の問題を解決するには」を参照してください。

### 電源の問題

電源ライトが緑色に点灯していて、コンピュータの反応が停止した場合 — 53 ページの 「電源ライトと診断ライト」を参照してください。

電源ライトが緑色に点滅している場合 — コンピュータはスタンバイモードになっています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、 通常の動作が再開されます。

**電源ライトが消灯している場合** — コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントの両方にしっかりと装着しなおします。
- コンピュータが電源タップに接続されている場合、電源タップがコンセントに接続され電源 タップがオンになっていることを確認します。また、電源保護装置、電源タップ、電源延長 ケーブルなどを使用している場合は、それらを取り外してコンピュータに正しく電源が入るか 確認します。
- ・電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。
- 主電源ケーブルおよび前面パネルケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します(69ページの「システム基板のコンポーネント」を参照)。

電源ライトが黄色に点灯している場合 — デバイスが誤動作しているか、または正しく取り 付けられていない可能性があります。

• メモリモジュールを取り外して、取り付けなおします(70ページの「メモリ」を参照)。

• すべてのカードを取り外して、取り付けなおします(75ページの「カード」を参照)。

**電源ライトが黄色に点滅している場合** — コンピュータに電力は供給されていますが、 内部で電源の問題が発生している可能性があります。

- 電圧切り替えスイッチの設定が、ご使用の地域のAC電源に一致しているか確認します (該当する場合のみ)。
- プロセッサ電源ケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているか確認します (69ページの「システム基板のコンポーネント」を参照)。

電気的な妨害を解消します — 電気的な妨害の原因には、以下のものがあります。

- 電源ケーブル、キーボードケーブル、およびマウスの延長ケーブル
- 電源タップにあまりに多くのデバイスが接続されている
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

# プリンタの問題

- メモ:プリンタのテクニカルサポートが必要な場合は、プリンタの製造元にお問い合わせください。

**プリンタのマニュアルを確認します** -- プリンタのセットアップとトラブルシューティングの詳細については、プリンタのマニュアルを参照してください。

#### プリンタの電源がオンになっているか確認します —

#### プリンタのケーブル接続を確認します —

- ケーブル接続については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します (20ページの「プリンタのセットアップ」を参照)。

**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

- プリンタが WINDOWS によって認識されていることを確認します —
- 1 スタート ボタンをクリックし、コントロール パネル をクリックして、プリンタとその他のハー ドウェア をクリックします。
- 2 インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する をクリックします。 プリンタが一覧に表示されている場合は、プリンタアイコンを右クリックします。
- 3 プロパティ をクリックし、ポート タブをクリックします。USB プリンタの場合、印刷先のポート が USB に設定されているか確認します。

**プリンタドライバを再インストールします** — 手順については、プリンタのマニュアルを参照してください。

# スキャナーの問題

警告: 『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

メモ:スキャナーのテクニカルサポートが必要な場合は、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

**スキャナーのマニュアルを確認します** — スキャナーのセットアップとトラブルシューティングの詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナのロックを解除します — お使いのスキャナーに固定タブやボタンがある場合は、 ロックが解除されているか確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます —

#### ケーブル接続を確認します ―

- ケーブル接続の詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーのケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

スキャナーが MICROSOFT WINDOWS によって認識されているか確認します —

1 スタート ボタンをクリックし、コントロールパネル をクリックして、プリンタとその他のハー ドウェア をクリックします。

2 スキャナとカメラ をクリックします。

お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、スキャナーは Windows によって認識されています。

**スキャナードライバを再インストールします** — 手順については、スキャナーのマニュアル を参照してください。

# サウンドおよびスピーカーの問題

/ 警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

#### スピーカーから音が出ない場合

✓ メモ: MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。 MP3 の音楽を聴いていた場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

**スピーカーケーブルの接続を確認します** — スピーカーに付属しているセットアップ図のとおりにスピーカーが接続されているか確認します。サウンドカードをご購入された場合は、スピーカーがカードに接続されているか確認します。

BIOS セットアッププログラムで正しいオーディオソリューションが有効になっている か確認します — 103 ページの「セットアップユーティリティ」を参照してください。

**サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します** — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合は、音量、低音、または高音を調整して音のひずみを解消します。

**WINDOWS のボリュームを調整します** — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをクリックま たはダブルクリックします。ボリュームが上げてあり、サウンドがミュートに設定されていな いか確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — コンピュータの前面パネルに あるヘッドホンコネクタにヘッドホンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえ なくなります。

**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

電気的な妨害を解消します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切ってみます。

サウンドドライバを再インストールします — 60 ページの「ドライバの再インストール」 を参照してください。

**ハードウェアのトラブルシューティングを実行します** — 61 ページの「ソフトウェアと ハードウェアの非互換性の問題を解決するには」を参照してください。

### ヘッドフォンから音が出ない場合

ヘッドフォンケーブルの接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネク タにしっかりと接続されているか確認します(15ページの「コンピュータの正面図」を参照)。

**WINDOWS のボリュームを調整します** — 画面右下にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。ボリュームが上げてあり、サウンドがミュートに設定されていないか確認します。

BIOS セットアッププログラムで正しいオーディオソリューションが有効になっている か確認します — 103 ページの「セットアップユーティリティ」を参照してください。

### ビデオおよびモニターの問題

画面に何も表示されない場合

モニターのケーブル接続を確認します —

- グラフィックケーブルが、お使いのコンピュータのセットアップ図のとおりに接続されている か確認します。
   オプションのビデオカードを取り付けている場合は、モニターケーブルがシステム基板のビデ オコネクタではなく、カードに接続されていることを確認します。
- グラフィック延長ケーブルを外すと問題が解決する場合は、ケーブルに欠陥があります。
- コンピュータおよびモニターの電源ケーブルを交換し、電源ケーブルに障害があるかどうか確認します。
- ・曲がったり壊れたりしているピンがないか、コネクタを確認します。モニターのケーブルコネ クタは、通常ピンが欠けています。

**モニターの電源ライトを確認します** — 電源ライトが消灯している場合、ボタンをしっかり 押して、モニターの電源が入っているか確認します。電源ライトが点灯または点滅している場 合は、モニターに電力が供給されています。電源ライトが点滅する場合は、キーボードのキー を押すかマウスを動かします。

**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

診断ライトを確認します --- 53 ページの「電源ライトと診断ライト」を参照してください。

### 画面が見づらい場合

**モニターの設定を確認します** — モニターのコントラストと輝度の調整、モニターの消磁、およびモニターのセルフテストを実行する手順については、モニターのマニュアルを参照してください。

サブウーハーをモニターから離します — スピーカーシステムにサブウーハーが含まれている場合は、サブウーハーをモニターから 60 cm 以上離します。

**外部電源をモニターから離します** — 扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、およびその他の電気機器は、画面の状態を不安定にすることがあります。 コンピュータの近くで使用している機器の電源を切ってみてください。

モニターの向きを変えて、画面への太陽光の映りこみや干渉を除きます —

#### WINDOWS のディスプレイ設定を調整します —

- 1 スタート をクリックし、コントロールパネル をクリックして、デスクトップの表示とテーマ をクリックします。
- 2 画面 をクリックし、設定 タブをクリックします。
- 3 画面の解像度 および 画面の色 を別の設定にしてみます。

# アドバンストラブルシューティング

# 電源ライトと診断ライト

コンピュータの前面パネルには、1つの電源ライトと、「1」、「2」、「3」、「4」と表示された4つのライトがあります。これらのライトは問題のトラブルシューティングに役立ちます(15ページの「コンピュータの正面図」を参照)。コンピュータが正常に起動すると、診断ライトが点滅します。コンピュータが誤作動している場合は、ライトの色や組み合わせ順によって問題を識別できます。

### 電源ライト

電源ライト	問題の説明	推奨される処置
消灯	コンピュータは通常の「オフ」の状 態にあるか、または省電力モードに 入っています。	なし。電源ボタンを押してコンピュー タの電源を入れるか、またはコンピュー タを復帰させます。
緑色が点灯	コンピュータは起動し、正常に動作 しています。	なし。
緑色が点滅	コンピュータは Windows のスタン バイ省電力状態(S1 または S3)に なっています。	なし。マウスを動かすか、スペース バーを押すか、または、ウエイクアッ プデバイスとして設定されている別の デバイスを使用して、コンピュータを 復帰させます。
黄色が点灯	POST 前にエラーが発生しました。 電源ユニットから電源が正常である ことを示す信号が送られました。	詳細については、54 ページの「診断ラ イト」を参照してください。
		問題が解決しない場合は、デルにお問 い合わせください(117 ページの「デ ルへのお問い合わせ」を参照)。
黄色が点滅	電源ユニットに障害が発生した可能 性があります。電源ユニットから電 源が正常であることを示す信号が送 られていません。	電源コンセントにコンピュータを接続 します。46 ページの「電源の問題」も 参照してください。

### 診断ライト

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
1234	コンピュータが通常のオフの状態、 または POST 前にエラーが発生して いる可能性があります。	53 ページの「電源ライト」を参照し てください。
1234	コンピュータがリカバリモードに なっています。	なし。
1234	プロセッサの障害が発生した可能性 があります。	デルにお問い合わせください (117 ページの「デルへのお問い合わ せ」を参照)。
1234	メモリモジュールが検出されましたが、メモリに障害が発生しました。	<ul> <li>取り付けているメモリモジュールが2枚以上の場合は、モジュールを取り外し、1枚を取り付けなおして(70ページの「メモリ」を参照)、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合は、別のモジュールを追加します。障害のあるモジュールが見つかるまで、またはエラーなしにすべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。</li> <li>同じ種類で動作確認済みのメモリがある場合は、そのメモリをコンピュータに取り付けます(70ページの「メモリ」を参照)。</li> <li>問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください(117ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。</li> </ul>
1234	グラフィックの障害が発生した可能 性があります。	問題が解決しない場合は、デルにお問 い合わせください(117 ページの「デ ルへのお問い合わせ」を参照)。
1234	フロッピードライブまたはハードド ライブの障害が発生した可能性があ ります。	すべての電源ケーブルおよびデータ ケーブルを接続しなおし、コンピュー タを再起動します。
1234	USB の障害が発生した可能性があ ります。	すべての USB デバイスを取り付けなお し、ケーブル接続を確認して、コン ピュータを再起動します。

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
1234	メモリモジュールが検出されません。	<ul> <li>取り付けているメモリモジュールが2枚以上の場合は、モジュールを取り外し、1枚を取り付けなおして(70ページの「メモリ」を参照)、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合は、別のモジュールを取り付けなおします。障害のあるモジュールが見つかるまで、またはエラーなしにすべてのモジュールを取り付けなおすまで続けます。</li> <li>同じ種類で動作確認済みのメモリがある場合は、そのメモリをコンピュータに取り付けます(70ページの「メモリ」を参照)。</li> <li>問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください(117ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。</li> </ul>
1234	メモリモジュールは検出されました が、メモリ構成または互換性エラー が存在します。	<ul> <li>特別なメモリモジュール/メモリコ ネクタ設置要件がないか確認します (70ページの「メモリ」を参照)。</li> <li>取り付けようとしているメモリモ ジュールにコンピュータとの互換性 があるか確認します(70ページの 「メモリ」を参照)。</li> <li>問題が解決しない場合は、デルにお 問い合わせください(117ページの 「デルへのお問い合わせ」を参照)。</li> </ul>

ライトパターン	問題の説明	推奨される処置
1234	拡張カードの障害が発生した可能性があります。	<ul> <li>1カードを1枚取り外してからコン ピュータを再起動し、競合が起きているかを調べます(75ページの「カード」を参照)。</li> <li>2問題が解決しない場合は、取り外したカードを取り付けなおし、別のカードを取り外して、コンピュータを再起動します。</li> <li>3それぞれのカードについて、この手順を繰り返します。コンピュータがら取り外した最後のカードのリソース競合のトラブルシューティングを行います(61ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の問題を解決するには」を参照)。</li> <li>4問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください(117ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。</li> </ul>
1234	ルーチンのシステム動作がビデオ初 期化の後に行われています。	モニターに表示されるメッセージを待 ちます。
1234	システムリソースの設定中です。	なし。
1234	システム基板の障害が発生してい ます。	デルにお問い合わせください(117 ペー ジの「デルへのお問い合わせ」を参 照)。
1234	通常に動作していると、すべての診断ライトが点灯し、システムが起動する前に消灯します。 <b>メモ:</b> すべての診断ライトが点灯した状態で、システムが起動しない場合は、電源ユニットまたはプロセッサに障害が発生している可能性があります。	システムが起動しない場合は、コン ピュータを使用可能なコンセントに接 続してください。46 ページの「電源 の問題」も参照してください。 電源に問題がないのにシステムが起動 しない場合は、デルにお問い合わせく ださい(117 ページの「デルへのお問 い合わせ」を参照)。

# Dell Diagnostics(診断)プログラム

▲ 警告: 『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

コンピュータに問題が発生した場合は、デルテクニカルサポートにお問い合わせになる前に、 35ページの「問題の解決」のチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics(診断)プログラム を実行してください。

▶ 注意: Dell Diagnostics(診断)プログラムは Dell™コンピュータ上でのみ機能します。

- 1 コンピュータの電源を入れます(または再起動します)。
- 2 DELL™ ロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

ここで時間をおきすぎて OS のロゴが表示された場合は、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> のデスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして(65 ページの「コン ピュータの電源を切る方法」を参照)もう一度やりなおします。

- 3 起動デバイス一覧が表示されたら、Boot to Utility Partition (ユーティリティパーティションから起動)をハイライト表示して、<Enter>を押します。
- 4 Dell Diagnostics(診断)プログラムの Main Menu(メインメニュー)が表示されたら、実行 するテストを選びます(57ページの「Dell Diagnostics(診断)プログラムのメインメニュー」 を参照)。

### Dell Diagnostics (診断) プログラムのメインメニュー

1 Dell Diagnostics (診断) プログラムがロードされ Main Menu (メインメニュー) 画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test (エクスプレステスト)	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテスト は 10 ~ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最 初に Express Test(エクスプレステスト)を実行する と、問題を素早く特定できる可能性が増します。
<b>Extended Test</b>	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストは1
(拡張テスト)	時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタ
(カスタムテスト)	マイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基
(症状ツリー)	づいたテストを選択することができます。

2 テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示すメッセージが表示され ます。エラーコードと問題の説明を書き留め、画面の指示に従います。

エラー状態を解決できない場合は、デルにお問い合わせください(117ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

メモ:各テスト画面の上部には、コンピュータのサービスタグが表示されます。デルにお問い合わせいただく場合は、テクニカルサポート担当者がサービスタグをおたずねします。

3 Custom Test (カスタムテスト) または Symptom Tree (症状ツリー) オプションからテストを実行する場合は、該当するタブをクリックします (詳細については、以下の表を参照してください)。

タブ	機能
	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors (エラー)	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示 されます。
Help(ヘルプ)	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration(構成)	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。
	Dell Diagnostics(診断)プログラムでは、セットアップ ユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべ てのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウ のデバイス一覧に表示します。デバイス一覧には、コン ピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、ま たはコンピュータに接続されたすべてのデバイス名が表示 されるとは限りません。
Parameters (パラメータ)	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすること ができます。

4 テスト画面を閉じて、Main Menu(メインメニュー)画面に戻ります。Dell Diagnostics (診断)プログラムを終了してコンピュータを再起動するには、Main Menu (メインメニュー)画面を閉じます。

# ドライバ

### ドライバとは?

ドライバは、プリンタ、マウス、またはキーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。 すべてのデバイスにドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。 各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。 お使いのコンピュータには、出荷時に必要なドライバがすでにインストールされていますので、 新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

✓ **メモ**: コンピュータに OS を再インストールする場合は、ドライバをインストールする前に DSS ユー ティリティを再インストールする必要があります。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> OS に付属しています。以下の 場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- **OS** のアップグレード
- OS の再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

### ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合は、問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライ バをアップデートしてください。

#### Windows XP

- 1 スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- 2 作業する分野を選びます にある パフォーマンスとメンテナンス をクリックします。
- 3 システム をクリックします。
- 4 システムのプロパティ ウィンドウの ハードウェア タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ**をクリックします。
- 6 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符(!の付いた黄色の丸)が付いている ものがないか確認します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのイン ストールが必要な場合があります。

### ドライバの再インストール

 注意:デルサポートサイト support.jp.dell.com から Dell™ コンピュータの認可されたドライバが入手で きます。その他の媒体からドライバをインストールした場合は、お使いのコンピュータが適切に動作 しないおそれがあります。

#### Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートした後に、コンピュータに問題が発生した場合は、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを使用して、以前にインストールしたバージョンのドライバに置き換えることができます。

- 1 スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- 2 作業する分野を選びます にある パフォーマンスとメンテナンス をクリックします。
- 3 システム をクリックします。
- 4 システムのプロパティ ウィンドウの ハードウェア タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ**をクリックします。
- 6 新しいドライバがインストールされたデバイスを右クリックして、プロパティをクリックします。
- **7 ドライバ**タブをクリックします。
- 8 ドライバのロールバック をクリックします。

ドライバのロールバックで問題が解決しない場合は、システムの復元を使用して、新しいデバイス ドライバをインストールする前の稼動状態にコンピュータを戻します。

#### 手動によるドライバの再インストール

- 必要なドライバファイルをハードドライブにコピーした後、スタートボタンをクリックし、 マイコンピュータを右クリックします。
- 2 **プロパティ** をクリックします。
- 3 ハードウェア タブをクリックして、デバイスマネージャ をクリックします。
- 4 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします。
- 5 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
- 6 ドライバ タブをクリックして、ドライバの更新 をクリックします。
- 7 一覧または特定の場所からインストールする(詳細)をクリックして、次へをクリックします。
- 8 参照をクリックし、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
- 9 該当するドライバの名前が表示されたら、次へをクリックします。
- 10 完了 をクリックして、コンピュータを再起動します。

# ソフトウェアとハードウェアの非互換性の問題を解決するには

OSのセットアップ中にデバイスが検出されないか、検出されても間違って設定されている場合は、 ハードウェアに関するトラブルシューティングを使用して非互換性を解決することができます。 ハードウェアに関するトラブルシューティングで非互換性の問題を解決するには、次の手順を実行

します。

- 1 スタート ボタンをクリックして、ヘルプとサポート をクリックします。
- 2 検索フィールドでハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、次に、矢印をクリックして検索を開始します。
- 3 検索結果 一覧で、ハードウェアに関するトラブルシューティング をクリックします。
- 4 ハードウェアに関するトラブルシューティングの一覧で、コンピュータにあるハードウェアの 競合を解決します をクリックして、次へ をクリックします。

### お使いの 0S の復元

次の方法で、お使いの OS を復元することができます。

- Microsoft Windows XP システムの復元は、データファイルに影響を及ぼすことなく、 コンピュータを以前の状態に戻します。
- Symantec による Dell PC リストアは、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入され たときの状態に戻します。Dell PC リストアは、ハードドライブのすべてのデータを永久に削 除し、コンピュータを受け取られてから後にインストールされたアプリケーションもすべて削 除します。

### Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> XP システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合は、Microsoft Windows XP OS のシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます(データファイルへの影響はありません)。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。

注意:データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元によって、 データファイルの変更の監視や復元はできません。

✓ **メモ**:本書に記載されている手順は、Windowsのデフォルトビュー用に書かれているため、お使いの Dell™コンピュータをWindows クラシック表示に設定している場合には適用されません。

#### 復元ポイントの作成

- 1 スタート ボタンをクリックして、ヘルプとサポート をクリックします。
- 2 システムの復元 をクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従ってください。

#### コンピュータの以前の動作状態への復元

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合は、まずデバイスドライバロール バック(60ページの「Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方」を参照)を使用し てみます。それでも問題を解決しない場合は、システムの復元を使用します。

- 注意:コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。
- 1 スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム→ アクセサリ→ システムツール の順にポ イントしてから システムの復元 をクリックします。
- 2 コンピュータを以前の状態に復元する が選択されていることを確認して、次へ をクリックします。
- 3 コンピュータを復元したいカレンダーの日付をクリックします。

復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイント が利用できる日付は太字で表示されます。

4 復元ポイントを選択して、次へをクリックします。

日付に復元ポイントが1つしかない場合は、その復元ポイントが自動的に選択されます。 2つ以上の復元ポイントが利用可能な場合は、希望の復元ポイントをクリックします。

5 次へ をクリックします。

システムの復元がデータの収集を完了したら、復元は完了しました画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。

6 コンピュータが再起動したら、OK をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使って手順を繰り返すか、または復元を取り消 すことができます。

#### 前回のシステムの復元の取り消し

- 注意:最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。
- 1 スタート ボタンをクリックし、すべてのプログラム→ アクセサリ→ システムツール の順にポイントしてから システムの復元 をクリックします。
- 2 以前の復元を取り消す をクリックして、次へ をクリックします。

#### システムの復元の有効化

空き容量が 200 MB 未満のハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの 復元は自動的に無効に設定されます。システムの復元が有効になっているかどうかを確認するには、 次の手順を実行します。

- 1 スタート ボタンをクリックして、コントロールパネル をクリックします。
- 2 パフォーマンスとメンテナンス をクリックします。
- **3 システム**をクリックします。
- **4 システムの復元** タブをクリックします。
- 5 システムの復元を無効にするのチェックマークが付いていないことを確認します。

#### Symantec による Dell™ PC リストアの使い方

✓ メモ:Dell PC リストアは、すべての国で利用できるわけではありません。

Symantec による Dell PC リストアは、お使いの OS を復元するための最終手段としてのみ使用して ください。PC リストアは、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻 します。コンピュータを受け取られてから追加されたどのようなプログラムやファイル(データ ファイルを含む)も永久にハードドライブから削除されます。データファイルには、コンピュータ 上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。 PC リストアを使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。

注意: PC リストアを使用すると、ハードドライブのすべてのデータは永久に削除され、コンピュー タを受け取られてから後にインストールされたアプリケーションやドライバもすべて削除されます。 PC リストアを使用する前にデータをバックアップしてください。

PC リストアは、以下の手順で実行します。

- 1 コンピュータの電源を入れ、キーボードのステータスライトに注目します。
- 2 ライトが点滅したら、すぐに <Ctrl><F11> を押します。

<Ctrl><F11>を押すのが遅れた場合は、いったんコンピュータが起動し終わるのを待って、 もう一度再起動します。

🕤 注意:PC リストアをこれ以上進めたくない場合は、次の手順で 再起動 をクリックします。

- 3 次の画面で、**復元**をクリックします。
- 次の画面で、承認をクリックします。
   復元プロセスが完了するまでに約6~10分かかります。
- 5 プロンプトが表示されたら、終了をクリックしてコンピュータを再起動します。
  - メモ:コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。終了をクリックし、 コンピュータを完全に再起動させます。

6 プロンプトが表示されたら、**はい**をクリックします。

コンピュータが再起動します。コンピュータは初期の稼動状態に復元されるため、エンドユー ザーライセンス契約のようにいちばん初めにコンピュータのスイッチを入れたときと同じ画面 が表示されます。

7 次へをクリックします。

システムの復元 画面が表示され、コンピュータが再起動します。

8 コンピュータが再起動したら、OK をクリックします。

### Dell PC リストアの削除

注意: Dell PC リストアをハードドライブから削除すると、PC リストアユーティリティはお使いのコンピュータから永久に削除されます。Dell PC リストアを削除してしまうと、このユーティリティを使用してお使いのコンピュータの OS を復元することはできなくなります。

PC リストアを使用すると、ハードドライブをコンピュータをご購入になった時の状態に戻すことができます。ハードドライブの空き容量を増やしたい場合でも、PC リストアをコンピュータから削除することはお勧めできません。ハードドライブから PC リストアを削除してしまうと、今後、PC リストアを呼び出すことができず、PC リストアを使用してコンピュータの OS を出荷時の状態に戻すことができなくなります。

PC リストアを削除するには次の手順を実行します。

- コンピュータにローカルのシステム管理者としてログオンします。
- 2 Windows エクスプローラで c:\dell\utilities\DSR に移動します。
- 3 DSRIRRemv2.exe ファイルをダブルクリックします。
  - メモ:ローカルのシステム管理者としてログオンしていない場合は、ローカルのシステム管理者 としてログオンするようメッセージが表示されます。終了をクリックして、ローカルのシステム 管理者としてログオンします。
  - メモ:お使いのコンピュータのハードドライブに PC リストア用パーティションがない場合は、 パーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示されます。終了 をクリックして ください。削除するパーティションがありません。
- 4 OK をクリックして、ハードドライブの PC リストア用パーティションを削除します。
- 5 確認のメッセージが表示されたら、はいをクリックします。

PC リストア用パーティションが削除され、新しくできた使用可能ディスクスペースが、ハードドライブの空き領域の割り当てに加えられます。

- 6 Windows エクスプローラで **ローカルディスク(C)**を右クリックし、プロパティ をクリック して、空き領域に追加されたスペースが加えられていることを確認します。
- 7 終了 をクリックして PC リストアの削除 ウィンドウを閉じます。
- 8 コンピュータを再起動します。

# 部品の取り外しと取り付け

# 作業を開始する前に

本章では、お使いのコンピュータからコンポーネントを取り外したり、取り付けたりする手順 について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしているこ とを前提とします。

- 「コンピュータの電源を切る方法」および66ページの「コンピュータ内部の作業を始める 前に」の手順をすでに終えていること。
- Dell™の『製品情報ガイド』の安全に関する情報をすでに読んでいること。

メモ:特に指示がない限り、コンポーネントは取り外し手順と逆の順番で元どおりの取り付けまたは(別途購入している場合は)新規の取り付けができます。

### 推奨するツール

本書で説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバ
- プラスドライバ
- support.jp.dell.com で入手できるフラッシュ BIOS 実行可能アップデートプログラム

### コンピュータの電源を切る方法

- 注意:データの損失を避けるため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 1 次の手順で OS をシャットダウンします。
  - a 開いているすべてのプログラムやファイルを保存して終了します。スタート ボタンを クリックして、終了オプション をクリックします。
  - **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、電源を切る をクリックします。
     OS のシャットダウンプロセスが終了した後に、コンピュータの電源が切れます。
- 2 コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。OS をシャットダウンしたときに、コンピュータおよび接続デバイスの電源が自動的に切れな かった場合は、電源ボタンを4秒以上押し続けます。

### コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の点にご注意ください。

- ∕⚠️ 警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。
- 警告:部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。 プロセッサチップのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく縁を持つようにしてください。
- 注意:コンピュータの修理は、資格を持っているサービス技術者のみが行ってください。デルが認可していないサービスによる故障は、保証の対象になりません。
- 注意:ケーブルを外すときは、コネクタまたはストレインリリーフループの部分を持ち、ケーブルそのものを引っ張らないでください。ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを抜く場合は、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きに揃っているか確認します。
- 注意:コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。
- 1 コンピュータの電源を切ります(65ページの「コンピュータの電源を切る方法」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを取り外すには、まずコンピュータからケーブルを外し、次に、ネット ワークポートまたはデバイスからケーブルを外します。
- 2 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
- 3 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタン を押して、システム基板の静電気を除去します。
- 4 コンピュータカバーを取り外します(66ページの「コンピュータカバーの取り外し」を参照)。
- 注意:コンピュータ内部の部品に触れる前に、コンピュータ背面の金属部など塗装されていない金属 面に触れて、身体の静電気を除去してください。作業中も、定期的に塗装されていない金属面に触れ て、内蔵コンポーネントを損傷するおそれのある静電気を除去してください。

# コンピュータカバーの取り外し

- ∕⚠️ 警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。
- // 警告:感電防止のため、カバーを開く前にコンピュータの電源プラグを必ずコンセントから抜いてく ださい。
- 1 65 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- この主意:取り外したカバーを置ける十分なスペース(作業台の上に30 cm以上)があることを確認します。
- 注意:コンピュータやコンピュータを置いている台の表面を傷付けないように、保護されている水平 な台上で作業します。
- 2 背面パネルのパドロックリングにパドロックを取り付けている場合は、パドロックを取り外します。

- 3 コンピュータカバーを上向きにして、コンピュータを横に倒します。
- 注意:コンピュータカバーを取り外す際には、システム基板から誤ってケーブルを抜かないように注意してください。
- 4 カバーリリースラッチを後方にスライドさせ、カバーを持ち上げます。
- 5 カバーを取り外し、柔らかく傷が付きにくい場所に置いておきます。



1 セキュリティケーブルスロット 2 カバーリリースラッチ 3 パドロックリング

# コンピュータの内面図

注意:コンピュータカバーを取り外す際には、システム基板から誤ってケーブルを抜かないように注意してください。



- 1 ドライブベイ (CD/DVD、フロッピー、 2 電源ユニット 3 システム基板 およびハードドライブ)
- 4 カードスロット

5 ヒートシンクアセンブリ 6 前面 I/O パネル

システム基板のコンポーネント



1	ファンコネクタ (FAN_CPU1)	2	プロセッサソケット (CPU)	3	電源コネクタ (PW_12V_A1)
4	メモリモジュールコネクタ (DIMM_1、DIMM_2、 DIMM_3、DIMM_4)	5	電源コネクタ(POWER1)	6	SATA ドライブコネクタ (SATA0、SATA1)
7	前面パネルコネクタ (FRONTPANEL)	8	CMOS リセット(RTCRST)	9	バッテリーソケット(BT1)
10	内蔵 USB(USB1)	11	PCI Express x16 コネクタ (SLOT1)	12	PCI Express x1 コネクタ (SLOT2)
13	PCI コネクタ(SLOT3)	14	パスワードジャンパ (PSWD)	15	フロッピードライブコネク 夕(FLOPPY1)

# メモリ

お使いのコンピュータにシステム基板に装着されたメモリモジュールが1つしかない場合は、追加のメモリモジュールを取り付けてコンピュータのメモリを増やすことができます。 コンピュータは、DDR2メモリをサポートしています。お使いのコンピュータに対応するメモリの

コンビューダは、DDR2 メモリをサホートしています。お使いのコンビューダに対応するメモリの タイプについては、99 ページの「仕様」を参照してください。

### DDR2 メモリの概要

お使いのコンピュータの最小メモリ構成は、DDR2 メモリモジュール1枚です。このメモリモジュー ルは DIMM1 に取り付ける必要があります。複数の DDR2 メモリモジュールを取り付ける場合は、 メモリ容量、速度、テクノロジが同じメモリをペアで取り付ける必要があります。DDR2 メモリモ ジュールをペアで取り付けていない場合、コンピュータは動作し続けますが、性能がやや低下しま す。モジュールのラベルを見て、モジュールの容量を確認してください。



✓ メモ:必ず、システム基板に示されている順番で DDR2 メモリモジュールを装着してください。

注意: ECC またはバッファ付きのメモリモジュールは装着しないでください。バッファなしの非 ECC メモリのみがサポートされています。

推奨されるメモリ構成は次のとおりです。

- メモリモジュール 1 枚をコネクタ DIMM1 に装着
- 同じメモリモジュールのペアをコネクタ DIMM1 と DIMM2 に装着
- 同じメモリモジュールの1組のペアをコネクタ DIMM1と DIMM2 に、もう1組のペアをコネ クタ DIMM3 と DIMM4 に装着
- DDR2 533 MHz (PC2-4300) と DDR2 667 MHz (PC2-5400)のメモリモジュールのペアを装着した場合、モジュールは取り付けられたうちのより遅いスピードで動作します。

別のコネクタに装着する前に、必ず DIMM1(システム基板の端に最も近いコネクタ)から始めて、 順にメモリモジュールを装着してください。



 チャネル A。コネクタ DIMM\_1お 2 よび DIMM\_2 の同じメモリモ ジュールのペア(白色の固定ク リップ)
 チャネル B。コネクタ DIMM\_3 および DIMM\_4の 同じメモリモジュールのペ ア(黒色の固定クリップ)

メモ:デルからご購入されたメモリは、お使いのコンピュータの保証に含まれます。

注意:メモリのアップグレード中にコンピュータから元のメモリを取り外した場合、新しく装着する モジュールをデルからお買い上げになったとしても、元のメモリを新しいメモリとは別に保管してく ださい。できるだけ、新しいメモリモジュールと元のメモリモジュールをペアにしないでください。 ペアにすると、コンピュータが正しく起動しないことがあります。 メモリの取り付け

- ▲ 警告: 『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。
- 注意:コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、 身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れること により、身体の静電気を除去することができます。
- 1 65ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- 2 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。



1 システム基板の端に近いメモリコネクタ 2 固定クリップ(2) 3 コネクタ
3 メモリモジュールの底面の切り込みを、コネクタ内のクロスバーに合わせます。



- 1 切り欠き(2) 2 メモリモジュール 3 切り込み
- 4 クロスバー
- 注意:メモリモジュールの損傷を防ぐため、モジュールの両端に均等に力を加えて、モジュールをコネクタに向けてまっすぐ下へ挿入します。
- 4 メモリモジュールをカチッと所定の位置に収まるまで、しっかりと押し込みます。 モジュールを正しく挿入すると、固定クリップはモジュール両端の切り欠きにカチッと収まり ます。



- 5 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイ スに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 6 コンピュータとデバイスを電源コンセントに接続し、電源を入れます。
- 7 メモリサイズが変更されているというメッセージが表示されたら、<F1>を押して続行します。
- 8 コンピュータにログオンします。
- 9 マイコンピュータ アイコンを右クリックして、プロパティ をクリックします。
- **10 全般** タブをクリックします。
- 11 表示されているメモリ(RAM)の容量を確認して、メモリが正しく装着されているか確認します。

メモリの取り外し

- ▲ 警告: 『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。
- 注意:コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、 身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れること により、身体の静電気を除去することができます。
- 1 65ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- 2 メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップを押し開きます。
- モジュールをしっかりつかんで、引き上げます。
   モジュールが取り外しにくい場合は、モジュールを前後に軽く動かして緩め、コネクタから取り外します。
- 4 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイ スに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 5 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

お使いの Dell™ コンピュータでは、PCI および PCI Express カード用に以下のスロットが用意されています。

- ロープロファイル PCI カードスロット 1 個
- ロープロファイル PCI Express x1 および x16 カードスロット 1 個



拡張カードを取り付けるか交換する場合は、次項の手順を実行します。拡張カードを取り外すだけ で取り付けなおさない場合は、79ページの「拡張カードの取り外し」を参照してください。 カードを別のタイプに交換する場合は、現在のカード用のドライバを OS から削除します。

#### 拡張カードの取り付け

- 1 65ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- 2 カード固定ドアの内側にあるリリースタブを軽く押し、ドアを回転させて開きます。ドアは繋留しているため、開いたままの状態になります。
- 3 新しいカードを取り付ける場合は、フィラーブラケットを取り外してカードスロット開口部を 作り、次に手順5に進みます。



1 リリースタブ 2 カード固定ドア

- 4 既にコンピュータに取り付けられているカードを交換する場合は、カードを取り外します。 必要に応じて、カードに接続されたケーブルを外します。カードの上端の角を持って、コネク タから取り外します。
- 5 カードを取り付ける準備をします。 カードの構成、内部の接続、またはお使いのコンピュータに合わせたカードのカスタマイズの 情報については、カードに付属しているマニュアルを参照してください。
- 警告:ネットワークアダプタの中には、ネットワークに接続すると自動的にコンピュータを起動する ものがあります。感電を防ぐため、カードを取り付ける前に必ず、コンピュータの電源プラグをコン セントから抜いておいてください。

6 カードをコネクタに置き、しっかりと押し下げます。カードがスロットにしっかりと装着され ていることを確認します。



- 1 スロット内のブラケット 2 スロットの外側にはみ出し 3 位置合わせバー たブラケット
- 4 位置合わせガイド 5 完全に装着されたカード 6 完全に装着されていない
  - カード

- 7 カード固定ドアを閉める前に、次のことを確認してください。
  - すべてのカードの上部とフィラーブラケットの高さが、位置合わせバーと同じ高さに揃っている
  - カードの上部の切り込みまたはフィラーブラケットが、位置合わせガイドと合っている



1 リリースタブ

2 カード固定ドア

3 フィラーブラケット

- 4 位置合わせガイド 5 位置合わせバー
- 8 カード固定ドアを所定の位置にカチッと収めて閉じます。
- 注意:カードケーブルをカードの上に配線しないでください。ケーブルをカードの上に配線すると、 コンピュータカバーがきちんと閉まらなかったり、装置が損傷する原因になります。
- 9 必要なすべてのケーブルをカードに接続します。 カードのケーブル接続については、カードに付属のマニュアルを参照してください。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- **10** コンピュータカバーを取り付け、コンピュータとデバイスをコンセントに接続し、電源を入れ ます。

- 11 サウンドカードを取り付けた場合は、次の手順を実行します。
  - a セットアップユーティリティを起動し、Onboard Devices(オンボードデバイス)グルー プから Integrated Audio(オンボードオーディオ)を選択し、設定を Off(オフ)に変 更します(105ページの「セットアップユーティリティのオプション」を参照)。
  - b 外付けオーディオデバイスをサウンドカードのコネクタに接続します。外付けオーディオデバイスをコンピュータの背面パネルのライン入力コネクタに接続しないでください。 18ページの「背面パネルの I/O コネクタ」を参照してください。
- 12 アドインネットワークアダプタをインストールしていて、内蔵ネットワークアダプタを無効に する場合は、次の手順を実行します。
  - a セットアップユーティリティを起動し、Onboard Devices(オンボードデバイス)グルー プから Integrated NIC(オンボード NIC)を選択し、設定を Off(オフ)に変更します (105 ページの「セットアップユーティリティのオプション」を参照)。
  - b ネットワークケーブルをネットワークアダプタカードのコネクタに接続します。ネットワー クケーブルをコンピュータの背面パネルのオンボードネットワークコネクタに接続しない でください。
- 13 カードのマニュアルの説明に従って、カードに必要なすべてのドライバをインストールします。

#### 拡張カードの取り外し

- 1 65ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- 2 カード固定ドアのリリースタブを内側から慎重に押し、ドアを回転させて開きます。 ドアは繋留しているため、開いたままの状態になります。
- 3 必要に応じて、カードに接続されたケーブルを外します。
- 4 次の手順でカードを取り外します。

PCI または PCI Express x1 カードを取り外す場合は、カード上端の角をつかみ、 コネクタから引き抜きます。次に 手順 6 に進みます。

PCI Express x16 カードを取り外す場合は、手順 5 に進みます。

5 レバーを押しながら、カードを上方向に引いてカードコネクタから外します。



- 1 PCI Express x16 カード 2 レバー 3 固定スロット
- 4 固定タブ 5 PCI Express x16 カードコネクタ
- 6 カードを取り外したままにする場合は、空のカードスロット開口部にフィラーブラケットを取り付けます。
- メモ:コンピュータの FCC 認証を満たすには、フィラーブラケットを空のカードスロット開口部に取り付ける必要があります。また、フィラーブラケットを装着すると、コンピュータをほこりやゴミから保護できます。
  - 7 カード固定ドアを閉める前に、次のことを確認してください。
    - すべてのカードの上部とフィラーブラケットの高さが、位置合わせバーと同じ高さに揃っている
    - カードの上部の切り込みまたはフィラーブラケットが、位置合わせガイドと合っている
- 8 カード固定ドアを所定の位置にカチッと閉め、カードを固定します。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイ スに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 9 コンピュータカバーを取り付け、コンピュータとデバイスをコンセントに接続し、電源を入れ ます。
- **10** カードのドライバを OS から削除します。

- 11 サウンドカードを取り外した場合は、次の手順を実行します。
  - a セットアップユーティリティを起動し、Onboard Devices(オンボードデバイス)グルー プから Integrated Audio(オンボードオーディオ)を選択し、設定を On(オン)に変 更します(105 ページの「セットアップユーティリティのオプション」を参照)。
  - b 外付けオーディオデバイスをコンピュータの背面パネルのオーディオコネクタに接続します。18ページの「背面パネルの I/O コネクタ」を参照してください。
- 12 アドインネットワークコネクタを取り外した場合は、次の手順を実行します。
  - a セットアップユーティリティを起動し、Onboard Devices(オンボードデバイス)グルー プから Integrated NIC(オンボード NIC)を選択し、設定を On(オン)に変更します (105 ページの「セットアップユーティリティのオプション」を参照)。
  - b ネットワークケーブルをコンピュータ背面パネルの内蔵コネクタに接続します。

# ドライブ

お使いのコンピュータは、以下のデバイスの組み合わせをサポートしています。

- シリアル ATA ハードドライブを1台
- オプションのフロッピードライブまたはメディアカードリーダーを1台
- CD ドライブまたは DVD ドライブを1台



1 DVD ドライブ 2 オプションのフロッピードライブま 3 ハードドライブ たはメディアカードリーダー

#### 一般的な取り付けガイドライン

SATA ハードドライブを「SATA0」と表示されているコネクタに接続します。SATA CD または DVD ドライブを システム基板 上の「SATA1」と表示されているコネクタに接続します。システム基板の コネクタについては、69 ページの「システム基板のコンポーネント」を参照してください。

#### ドライブケーブルの接続

ドライブを取り付ける場合は、2本のケーブル(DC電源ケーブルとデータケーブル)をドライブの 背面およびシステム基板に接続します。

#### ドライブインタフェースコネクタ





1 インタフェースケーブル 2 インタフェースコネクタ

電源ケーブルコネクタ



#### ドライブケーブルの接続と取り外し

シリアル ATA データケーブルを取り外す場合は、色付きのプルタブをつかんで、コネクタが外れる まで引っ張ります。シリアル ATA データケーブルを接続する場合は、それぞれの端にある黒色のコ ネクタを持ちます。



## ハードドライブ

- /↑ 警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。
- 注意:ドライブへの損傷を防ぐため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、 発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。
- 注意:残しておきたいデータを保存しているハードドライブを交換する場合は、ファイルのバックアップを取ってから、次の手順を開始します。

ドライブのマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っていることを確認します。

#### ハードドライブの取り外し

- 1 65 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- ✓ メモ:以下の手順では、CD/DVD、フロッピードライブ、またはメディアカードリーダーを脇に置いたら、作業の邪魔にならない限り、これらのドライブを接続しているケーブルを外す必要はありません。
- CD/DVD ドライブが取り付けられている場合は、ベイから取り外し、注意して脇に置いておきます(94ページの「CD/DVD ドライブの取り外し」を参照)。
- 3 フロッピードライブまたはメディアカードリーダーが取り付けられている場合は、ベイから取り外し、注意して脇に置いておきます(91ページの「メディアカードリーダーの取り外し」または87ページの「フロッピードライブの取り外し」を参照)。

- 4 ドライブ両端の2つのプラスチックの固定クリップを押し込み、ドライブをコンピュータの背面方向にスライドさせます。
- 注意:ドライブをコンピュータから取り外すときに、ドライブケーブルを引っ張らないでください。 ケーブルを引っ張ると、ケーブルやケーブルコネクタに損傷を与える場合があります。
- 5 ドライブを持ち上げてコンピュータから出し、電源ケーブルおよびデータケーブルをドライブ から外します。



 1
 固定クリップ(2)
 2
 ハードドライブ

#### ハードドライブの取り付け

- 1 ドライブのマニュアルを参照して、ドライブの設定がお使いのコンピュータに合っていること を確認します。
- 注意:ドライブへの損傷を防ぐため、ドライブを硬い所に置かないでください。ドライブは、 発泡樹脂製のパッドなど十分なクッション性のあるものの上に置いてください。
- 2 交換用のハードドライブを梱包から取り出して、取り付けの準備をします。

3 交換用ハードドライブにプラスチック製のハードドライブブラケットがない場合は、既存のド ライブからブラケットをカチッと取り外します。



1 ハードドライブ 2 リリースタブ (2)

3 プラスチック製のハードド ライブブラケット

**4** 2 個の固定タブをハードドライブの取り付け穴に合わせ、ドライブを下側に回転させてブラ ケットに固定することで、ブラケットを新しいドライブに取り付けます。



1 固定タブ(2)

2 ハードドライブ 3 リリースタブ (2)

4 プラスチック製のハードドライブブラケット

- 5 電源ケーブルとデータケーブルをドライブに接続します。
- 6 ドライブの正しいガイダンススロット(スロット 1)の位置を確認し、リリースタブを位置合 わせガイドに合わせます。



1 ハードドライブ 2 スロット検証番号

- **1** ドライブを所定の位置に収まるまでベイに押し込みます。
- 8 取り外したドライブまたはリーダーをすべて取り付けます。
- 9 すべてのコネクタが正しく接続され、しっかりと固定されているか確認します。
- 10 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイ スに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 11 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 12 プライマリドライブを取り付けた場合は、起動可能なメディアをお使いの起動ドライブに挿入 します。
- 13 セットアップユーティリティを起動して(104ページの「セットアップユーティリティの起動」 を参照)、適切な プライマリドライブ オプション(0または2)を更新します。
- 14 セットアップユーティリティを終了し、コンピュータを再起動します。

15 次の手順に進む前に、お使いのドライブにパーティションを作成し、論理フォーマットを実行 します。

手順については、OS に付属のマニュアルを参照してください。

- **16** Dell Diagnostics(診断)プログラムを実行して、ハードドライブをテストします (57 ページの「Dell Diagnostics(診断)プログラム」を参照)。
- 17 ハードドライブに OS をインストールします。手順については、OS に付属のマニュアルを参照 してください。

# フロッピードライブ

- 警告: 『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

#### フロッピードライブの取り外し

- 1 65 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- メモ:以下の手順では、CD/DVDドライブを脇に置いたら、作業の邪魔にならない限り、ドライブを 接続しているケーブルを外す必要はありません。
- 2 CD/DVD ドライブを取り外し(94 ページの「CD/DVD ドライブの取り外し」を参照)、 注意して脇に置いておきます。
- 注意:ドライブをコンピュータから取り外すときに、ドライブケーブルを引っ張らないでください。 ケーブルを引っ張ると、ケーブルやケーブルコネクタに損傷を与える場合があります。

**3** ドライブリリースラッチを引き上げ、フロッピードライブをコンピュータの背面方向にスライ ドさせます。次に、ドライブをコンピュータから持ち上げて取り外します。



1 ドライブリリースラッチ 2 フロッピードライブ

- 4 電源ケーブルとデータケーブルをフロッピードライブの背面から外します。
- 5 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 6 コンピュータとデバイスを電源コンセントに接続し、電源を入れます。

## フロッピードライブの取り付け

🎊 警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

- 注意:コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、 身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることに より、身体の静電気を除去することができます。
- 1 65ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- 2 フロッピードライブとブラケットを梱包から取り出します。
- 3 新しいドライブを取り付ける場合は、次の手順を実行します。
  - a FlexBay を塞いでいるドライブベイカバーを取り外します。ドライブカバーの背面で、 細めのマイナスドライバを使って、慎重にドライブベイカバーを外します。
  - **b** ドライブベイカバーから4本の肩付きネジを外します。
- 4 既存のドライブを交換する場合は、次の作業を行います。
  - a 既存のドライブを取り外します。
  - b 既存のドライブから4本の肩付きネジを外します。
- 5 4本の肩付きネジを新しいフロッピードライブの側面に挿入して締めます。



- 6 電源ケーブルとデータケーブルをフロッピードライブに取り付けます。
- 7 ドライブの正しいガイダンススロット(スロット 2)の位置を確認し、肩付きネジをネジガイ ドに合わせます。



1 フロッピードライブ 2 スロット検証番号

- 8 ドライブを所定の位置に収まるまでベイに押し込みます。
- 9 データケーブルをシステム基板の「FLOPPY」と表示されたコネクタに接続します (69ページの「システム基板のコンポーネント」を参照)。
- 10 CD/DVD ドライブを取り付けます。
- 11 すべてのケーブル接続を確認します。冷却ファンや通気孔の妨げにならないようにケーブルを まとめておきます。
- 12 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 13 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

# メディアカードリーダー

メディアカードリーダーの使い方の詳細については、28ページの「メディアカードリーダー (オプション)の使い方」を参照してください。

メディアカードリーダーの取り外し

🥂 警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

注意:コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、 身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることに より、身体の静電気を除去することができます。

- 1 65 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- メモ:以下の手順では、CD/DVDドライブを脇に置いたら、作業の邪魔にならない限り、ドライブを 接続しているケーブルを外す必要はありません。
- 2 CD/DVD ドライブを取り外し(94 ページの「CD/DVD ドライブの取り外し」を参照)、注意して脇に置いておきます。
- 注意:ドライブをコンピュータから取り外すときに、ドライブケーブルを引っ張らないでください。 ケーブルを引っ張ると、ケーブルやケーブルコネクタに損傷を与える場合があります。
- 3 メディアカードリーダーの USB ケーブルをシステム基板の USB コネクタ(USB1)から外し (69 ページの「システム基板のコンポーネント」を参照)、ケーブルをエアフローカバーの クリップに通して配線します。
- **4** ドライブリリースラッチを引き上げ、メディアカードリーダーをコンピュータの背面方向にスラ イドさせます。次に、メディアカードリーダーをコンピュータから持ち上げて取り外します。



1 メディアカードリーダー 2 ドライブリリースラッチ

- 5 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイ スに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 6 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

#### メディアカードリーダーの取り付け

- 1 65ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- 2 メディアカードリーダーとブラケットの包装を取り除きます。
- 3 新しいメディアカードリーダーを取り付ける場合は、次の手順を実行します。
  - a FlexBay を塞いでいるドライブベイカバーを取り外します。ドライブカバーの背面で、 細めのマイナスドライバを使って、慎重にドライブベイカバーを外します。
  - **b** ドライブベイカバーから4本の肩付きネジを外します。
- 4 既存のメディアカードリーダーを交換する場合は、次の作業を行います。
  - a 既存のメディアカードリーダーを取り外します。
  - **b** 既存のメディアカードリーダーから4本の肩付きネジを外します。
- 5 4本の肩付きネジをメディアカードリーダーの側面に挿入して締めます。



6 メディアカードリーダーの正しいガイダンススロット(スロット 2)の位置を確認し、 肩付きネジをネジガイドに合わせます。



1 メディアカードリーダー 2 スロット検証番号

- 7 カチッという音がしてメディアカードリーダーがしっかり固定されるまで、ドライブをベイの 所定の位置に差し込みます。
- 8 電源ケーブルとデータケーブルをメディアカードリーダーの背面に接続します。
- 9 データケーブルをシステム基板の USB コネクタに接続します(69 ページの「システム基板の コンポーネント」参照)。
- 10 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 11 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

## CD/DVD ドライブ

ださい。

## CD/DVD ドライブの取り外し

- 1 65ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- 注意:ドライブをコンピュータから取り外すときに、ドライブケーブルを引っ張らないでください。 ケーブルを引っ張ると、ケーブルやケーブルコネクタに損傷を与える場合があります。
- 2 ドライブリリースラッチを引き上げ、ドライブをコンピュータの背面方向にスライドさせます。 次に、ドライブをコンピュータから持ち上げて取り外します。



1 ドライブリリースラッチ 2 CD/DVD ドライブ

- 3 電源ケーブルとデータケーブルをドライブの背面から取り外します。
- 4 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 5 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

#### CD/DVD ドライブの取り付け

- 1 65ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- 2 ドライブを箱から取り出して、取り付けの準備をします。
- 3 新しいドライブを取り付ける場合は、次の手順を実行します。
  - a ドライブベイカバーの上部にある 2 つの留め金を押し、ドライブベイカバーをコンピュー タの前面方向に動かします。ドライブベイカバーをコンピュータから取り外します。
  - **b** ドライブベイカバーから3本の肩付きネジを外します。
- 4 既存のドライブを交換する場合は、次の作業を行います。
  - a 既存のドライブを取り外します。
  - b 既存のドライブから3本の肩付きネジを外します。
- 5 3本の肩付きネジを新しいドライブの側面に挿入して締めます。
- 6 電源ケーブルとデータケーブルをドライブに接続します。
- 7 肩付きネジをネジガイドに合わせ、カチッと所定の位置に収まるまでドライブをベイに押し込みます。



- 8 すべてのケーブル接続を確認します。ファンや冷却孔など空気の循環の妨げにならないように ケーブルをまとめておきます。
- 9 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイ スに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 10 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

## バッテリー

バッテリーの交換

- ✓▲ 警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。
- 注意:コンピュータ内の部品の静電気による損傷を防ぐため、コンピュータの電子部品に触れる前に、 身体から静電気を除去してください。コンピュータシャーシの塗装されていない金属面に触れることに より、身体の静電気を除去することができます。

コイン型バッテリーは、コンピュータの設定、日付、時刻の情報を保持します。バッテリーの寿命 は数年です。コンピュータを起動後に、何度も時刻と日付の情報をリセットしなければならないよ うな場合は、バッテリーを交換します。

バッテリーを交換するには、次の手順を実行します。

- 1 セットアップユーティリティ(105ページの「セットアップユーティリティのオプション」 を参照)のすべての画面を記録しておくと、手順8で正しい設定に復元することができます。
- 2 65 ページの「作業を開始する前に」の手順に従います。
- 3 バッテリーソケットの位置を確認します(69ページの「システム基板のコンポーネント」 を参照)。
- 注意:道具(先端の鋭くないもの)を使用してバッテリーをソケットから取り出す場合は、道具がシステム基板に触れないよう注意してください。必ず、バッテリーとソケットの間に道具を確実に挿入してから、バッテリーを外してください。そうしないと、バッテリーソケットが外れたり、システム基板の回路を切断するなど、システム基板に損傷を与えるおそれがあります。
- 4 プラスチック製のドライバなどのように先端部の鋭くない非導電性の道具、または指を使って バッテリーをバッテリーソケットから取り外します。

5 バッテリーの「+」側を上に向けて新しいバッテリーをソケットに挿入し、バッテリーを所定 の場所にカチッとはめ込みます。



1 バッテリー 2 バッテリーソケット

- 6 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 1 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 8 セットアップユーティリティを起動して(103ページの「セットアップユーティリティ」 を参照)、手順1で記録した設定に戻します。
- 9 古いバッテリーは適切に廃棄します。バッテリーの廃棄については、『製品情報ガイド』 を参照してください。

# コンピュータカバーの取り付け

⚠️警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

1 すべてのケーブルが確実に接続され、ケーブルが邪魔にならないように束ねられていることを 確認します。

電源ケーブルがドライブの下に挟まらないように、電源ケーブルを慎重に手前に引きます。

2 コンピュータの内部に工具や余った部品が残っていないことを確認します。



- 3 カバーを取り付けるには、次の手順を実行します。
  - a カバーの下側を、コンピュータの底面の縁に沿ってあるヒンジタブに合わせます。
  - **b** ヒンジタブをてこのように使い、カバーを下方向に動かして閉じます。
  - c カチッと音がして固定されるまで、カバーを押し下げます。
  - d コンピュータを動かす前に、カバーが正しくはまっていることを確認します。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
  - 4 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

# 付録

# 仕様

マイクロプロセッサ	
マイクロプロセッサの種類	AMD Athlon <sup>™</sup> 64 X2 デュアルコアプロセッサ AMD Athlon 64 AMD <sup>™</sup> Sempron
内部 <b>L2</b> キャッシュ	コアあたり 1 MB まで Sempron の場合は 256 KB まで
メモリ	

タイプ	533 MHz、667 MHz、800 MHz(利用可能時)の DDR2 SDRAM
メモリコネクタ	4 個
サポートされているメモリモ ジュール	256 MB、512 MB、または 1 GB の非 ECC
最小メモリ	256 MB
最大搭載メモリ	4 GB

## コンピュータ情報

チップセット	nVidia GeForce 6150LE
DMA チャネル	8
割り込みレベル	24
BIOS チップ(NVRAM)	4 Mb
NIC	内蔵ネットワークインタフェース
	10/100 通信が可能

ビデオ	
タイプ	nVidia オンボードビデオ(DirectX 9.0c Shader Model 3.0 グ ラフィックプロセッシングユニット)または PCI Express x16 グラフィックカード
オーディオ	
タイプ	Sigma Tel 9227 CODEC(7.1 チャネルオーディオ)
コントローラ	
ドライブ	デバイス 2 台をサポートする 2 個の SATA コントローラ
拡張バス	
バスのタイプ	PCI 2.3 PCI Express 1.0A SATA 1.0A および 2.0 USB 2.0
バス速度	PCI: 133 MB/ 秒 PCI Express x16: 双方向速度 40 Gbps PCI Express x1: 2.5 Gbps SATA: 1.5 Gbps および 3.0 Gbps USB: 高速 480 Mbps、12 Mbps 最高速度、1.2 Mbps 低速
カード	
PCI	
コネクタ	1 個
カードサイズ	ロープロファイル
コネクタサイズ	124 ピン
コネクタデータ幅 (最大)	32 ビット
PCI Express	
コネクタ	x1 が 1 個、x16 が 1 個
電源	10 W(x1)および最大 25 W(x16)
コネクタサイズ	36 ピン(x1)および 164 ピン(x16)
コネクタデータ幅(最大)	1 レーン PCI Express(x1)および 16 レーン PCI Express (x16)

## ドライブ

外部アクセス用	3.5 インチドライブ1台 5.25 インチドライブベイ1つ
利用可能なデバイス	SATA ハードドライブ、CD ドライブ、DVD ドライブ、 DVD +/- RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブ
内部アクセス可能	1 インチ高ハードドライブ用ベイ 1 つ

### コネクタ

外付けコネクタ	
ビデオ	15 ピン VGA コネクタ (メス)
ネットワークアダプタ	RJ45 コネクタ
USB	USB 2.0 対応コネクタ 6 個(前面パネルに 2 個と背面パネル に 4 個)
オーディオ	ライン入力とライン出力用のコネクタが 6 個、ヘッドフォン とマイク用の前面パネルコネクタが 2 個
システム基板コネクタ	
SATA	7 ピンコネクタ 2 個
フロッピードライブ	34 ピンコネクタ
ファン	5 ピンコネクタ
PCI 2.3	124 ピンコネクタ 1 個
PCIe x1	36 ピンコネクタ
PCle x16	164 ピンコネクタ
内蔵 USB	10 ピンコネクタ(USB ポート 2 個をサポート)
スピーカー	5 ピンコネクタ
メモリモジュール	240 ピンコネクタ 4 個
電源 12V	4 ピンコネクタ
電源	24 ピンコネクタ
バッテリー	2 ピンソケット

#### ボタンとライト

電源ボタン	押しボタン
電源ライト	緑色のライト — 緑色の点滅はスリープ状態を示します。 緑色の点灯は電源オンの状態を示します。
	黄色のライト — 黄色の点滅は取り付けられているデバイスに 問題が発生していることを示します。黄色の点灯は内部電源 の問題を示します(46 ページの「電源の問題」を参照)。
ハードドライブライト	緑色
リンクライト	緑色の点灯はネットワーク接続を示します。
リンク保全ライト(内蔵ネット ワークアダプタ上)	10 Mb 伝送時は緑色のライト; 100 Mb 伝送時は橙色のライト
アクティビティライト(オンボー ドネットワークアダプタ上)	黄色の点滅ライト
診断ライト	前面パネルに 4 個のライト。54 ページの「診断ライト」 を参照してください。
スタンバイ電源ライト	システム基板の AUX_PWR

#### 電源

サイズと重量	
バックアップバッテリー	3 V CR2032 コイン型リチウムバッテリー
電圧	手動選択電源ユニット ―  90 ~ 135 V(50/60 Hz); 180 ~ 265 V(50/60 Hz)
熱消費	最大 955.39 BTU/ 時間 <b>メモ:</b> 熱消費は電源ユニットの定格に基づいて算出したもの です。
ワット数	280 W
DC 電源ユニット	

縦幅	11.4 cm
横幅	39.9 cm
長さ	35.3 cm
重量	10.4 kg

環境	
温度	
動作時	$10\sim35~{ m C}$
保管時	-40 $\sim$ 65 $^\circ\mathrm{C}$
相対湿度	20~80%(結露しないこと)
最大振動	
動作時	0.25 G(3 ~ 200 Hz、0.5 オクターブ / 分)
保管時	0.5 G(3 ~ 200 Hz、1 オクターブ / 分)
最大耐久衝撃	
動作時	50.8 cm / 秒の速度変化でボトムハーフサインパルス
保管時	508 cm / 秒の速度変化で 27 G フェアードスクエアウェーブ
高度	
動作時	-15.2 $\sim$ 3,048 m
保管時	-15.2 $\sim$ 10,668 m

# セットアップユーティリティ

#### 概要

セットアップユーティリティは次の場合に使用します。

- ハードウェアを追加、変更、取り外した後に、システム設定情報を変更する場合
- ユーザーパスワードなどユーザー選択可能オプションを設定または変更する場合
- 現在のメモリの容量を調べたり、取り付けられたハードドライブの種類を設定する場合

セットアップユーティリティを使用する前に、システム設定画面の情報を控えておくことをお勧め します。

注意:コンピュータに関する知識が十分でない場合、このプログラムの設定を変更しないでください。 設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

#### セットアップユーティリティの起動

- 1 コンピュータの電源を入れます(または再起動します)。
- 2 DELL™ ロゴが表示されたら、F2 を押すよう促すプロンプトが表示されるのを注意して待って ください。
- 3 F2 プロンプトが表示されたら、すぐに <F2> を押します。
  - ✓ メモ: F2 プロンプトは、キーボードが初期化されたことを示します。このプロンプトは短時間しか表示されない場合があるので、プロンプトの表示に注意して <F2> を押す必要があります。プロンプトが表示される前に <F2> を押しても、キーは機能しません。
- 4 ここで時間をおきすぎて OS のロゴが表示された場合は、 Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> デスクトッ プが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして(65 ページの「コン ピュータの電源を切る方法」を参照)もう一度やりなおします。

#### セットアップ画面

セットアップユーティリティ画面には、お使いのコンピュータの現在の(または変更可能な)設定 情報が表示されます。画面上の情報は、オプションリスト、アクティブオプションフィールド、 キーファンクションの3つの領域に分かれます。

**Options List** (オプションリスト) — **Option Field** (オプションフィールド) — このフィー このフィールドは、セットアップユー ルドには、各オプションの説明が表示されます。この ティリティウィンドウの左側に表示さ フィールドでは、現在の設定を表示したり設定を変更で れます。このフィールドは、スクロー きます。 ル付きのボックスで、お使いのコン ピュータの設定(搭載しているハー ドウェア、省電力、およびセキュリ ティ機能など)を示す機能を一覧表 示します。

上下の矢印キーで、リストを上下に スクロールしてください。オプショ ンをハイライト表示すると、Option Field(オプションフィールド)にオ プションの詳細、現在の設定、およ び利用可能な設定が表示されます。

> Key Functions(キー操作) — このフィールドは Option Field(オプションフィールド)の下に表示さ れ、キーに割り当てられた機能をアクティブなセット アップユーティリティフィールド内に一覧表示します。

## セットアップユーティリティのオプション

メモ:お使いのコンピュータおよび取り付けられているデバイスに応じて、本項に一覧表示された項目とは異なる場合があります。

System(システム)	
System Info (システム情報)	コンピュータ名、BIOS Version(BIOS バージョン)、Service Tag(サービス タグ)、Express Service Code(エクスプレスサービスコード)(該当する 場合)、および Asset Tag を表示します。これらのフィールドはいずれも変更 できません。
Processor Info (プロセッサ情報)	CPU タイプ、プロセッサのクロック速度、バス速度、L2 キャッシュサイズ、お よびプロセッサ ID を表示します。また、プロセッサが 64 ビットテクノロジを サポートしているかどうかを示します。
Memory Info (メモリ情報)	搭載メモリのタイプ、サイズ、速度、およびチャネルモード(デュアルまたは シングル)を表示します。
PCI Info(PCI 情報)	搭載されている PCI カードまたは PCI Express カードを識別します。
Date/Time (日時)	現在の日付と時刻の設定を表示します。
Boot Sequence (起動順序)	コンピュータはこの一覧で指定されたデバイス順序に従って起動を試みます。
HDD Boot Sequence (HDD 起動順序)	BIOS がシステム内で利用可能なハードドライブを検索する順序を表示します。

Drives (ドライブ)	
Diskette Drive(ディ スケットドライブ)	フロッピードライブの有効 / 無効を切り替えます。オプションは、Off(オ フ)、USB、Internal(内蔵)、および Read Only(読み取り専用)です。
(デフォルトは Internal (内蔵))	<b>メモ:</b> USB を選択している場合は、Onboard Devices(オンボードデバイス)の下の USB Controller (USB コントローラ) セットアップオプションが On(オン)に設定されていることを確認します。
Drive 0: (SATA-0) (ドライブ 0: SATA-0)	システム基板の SATA コネクタに接続されているドライブを識別して有効 / 無効の切り替えを行い、ハードドライブの容量を一覧表示します。
(デフォルトは On(オン))	
Drive 1: (SATA-1) (ドライブ 1: SATA-1)	システム基板の SATA コネクタに接続されているドライブを識別して有効 / 無効の切り替えを行い、ハードドライブの容量を一覧表示します。
(デフォルトは <b>On</b> (オン))	
SMART Reporting (スマートレポート)	システム起動時に内蔵ドライブエラーを報告するかどうかを決定します。
(デフォルトは <b>Off</b> (オフ))	

Onboard Devices ()	オンボードデバイス)
--------------------	------------

Integrated NIC (オンボード NIC)	オンボード NIC コントローラの有効 / 無効を切り替えます。設定は、Off(オフ)、 On(オン)、On w/ PXE、または On w/RPL です。On w/ PXE まは On w/RPL
(デフォルトは <b>On</b> (オン))	の設定がアクティフな場合、起動ルーチンがネットワークサーバーから利用できないと、コンピュータは起動順序の一覧にある次のデバイスからの起動を試みます。
Integrated Audio (オンボードオーディオ)	オンボードオーディオコントローラの有効 / 無効を切り替えます。
(デフォルトは <b>On</b> (オン))	
USB Controller (USB コントローラ)	内蔵 USB コントローラの有効 / 無効を切り替えます。No Boot(ブートなし) に設定するとコントローラは有効になりますが、USB デバイスからの起動はで
(デフォルトは <b>On</b> (オン))	きません。 メモ: USB をサポートする OS では、No Boot(ブートなし)設定に関係なく USB フロッピードライブが認識されます。
Rear Dual USB0 (背面デュアル USB0) (デフォルトは On(オン))	コンピュータ背面の USB ポートのうち、表示されているグループの有効 / 無効を切り替えます。
Rear Dual USB1 (背面デュアル USB1) (デフォルトは On(オン))	コンピュータ背面の USB ポートのうち、表示されているグループの有効 / 無効を切り替えます。
Front USB(前面 USB) (デフォルトは On(オン))	コンピュータ前面の USB ポートのうち、表示されているグループの有効/無効を切り替えます。

<b>Video</b> (ビデオ)	
Primary Video (プライマリビデオ) (デフォルトは Auto(自動))	利用可能なビデオコントローラが2つある場合、どちらのビデオコントローラ がプライマリになるかを指定します(PCI、Onboard(オンボード)、Auto (自動)、およびPEG)。この選択は、ビデオコントローラが2つある場合以 外は無視してかまいません。Auto(自動)を選択すると、アドインビデオコン トローラが使用されます。 メモ: PCI Express グラフィックカードはオンボードビデオコントローラに優先し ます。
Video Memory Size (ビデオメモリサイズ) (デフォルトは 64MB)	オンボードビデオコントローラ用に予約するシステムメモリの容量を設定します。Auto(自動)、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、または Off(オフ)のいずれかに設定できます。

<b>Performance</b> (パフォーマンス)		
HDD Acoustic Mode (HDD アコースティッ クモード) (デフォルト は <b>Bypass</b> (バイパ ス))	<ul> <li>Bypass (バイパス) - お使いのコンピュータは、現在のアコースティック モードの設定をテストまたは変更しません。</li> <li>Quiet (静粛) - ハードドライブは最も静かな設定で動作します。</li> <li>Suggested (推奨) - ハードドライブは、ドライブ製造元が推奨する速度レ ベルで動作します。</li> <li>Performance (パフォーマンス) - ハードドライブは最大速度で動作します。</li> <li>メモ: Performance (パフォーマンス) モードへ切り替えると、ドライブはより 大きなノイズを発生する場合がありますが、動作に影響はありません。アコース ティック設定を変更しても、ハードドライブイメージは変わりません。</li> </ul>	
Security (セキュリティ	r)	
Unlock Setup (セット アップのアンロック)	管理者パスワードの使用中に、ユーザーがセットアップユーティリティの設定 にアクセスして変更できるようにします。セットアップユーティリティのロッ クを解除するには、プロンプトで管理者パスワードを入力します。ここで正し いパスワードを入力しないと、セットアップユーティリティのフィールドは表 示されますが、変更できません。	
Admin Password (管理者パスワード) (デフォルトは Not Set(未設定))	セットアップユーティリティのパスワードセキュリティ機能の現在の状態が表示され、ここで新しい管理者パスワードの確認と設定ができます。	
System Password (システムパスワード) (デフォルトは Not Set(未設定))	システムのパスワードセキュリティ機能の現在の状態が表示され、 ここで新しいシステムパスワードの設定と確認ができます。	
Password Changes (パスワード変更) (デフォルトは <b>Unlocked</b> (ロック解除)) Non-Execute Func (非実行ファンクション) (デフォルトは On (オン))	System (システム) パスワードと Admin (管理者) パスワードの相互関係を 決めます。Locked (ロック) では、有効な Admin (管理者) パスワードを持 たないユーザーによる System (システム) パスワードの変更が禁止されます。 Unlocked (ロック解除) では、有効な System (システム) パスワードを持 つユーザーによるシステムパスワードの変更が許可されます。 DEP (実行防止) メモリ保護テクノロジの有効/無効を切り替えます。	

Power Management (電力の管理)				
AC Recovery (AC リカバリ) (デフォルトは off(オフ))	停電後のAC電源投入時にシステムがどのように対応するかを決めます。Off (オフ)では、電源投入時にシステムがオフのままになります。システム電源 をオンにするには、前面パネルの電源ボタンを押す必要があります。On(オ ン)では、電源投入時にシステムがオンになります。Last(前回)に設定する と、前回の電源遮断時のシステム電源の設定状態に戻ります。			
Auto Power On (自動電源オン) (デフォルトは Off(オフ))	コンピュータに自動的に電源を入れるよう設定します。Off(オフ)にすると機能は無効になります。Everyday(毎日)では、Auto Power Time(自動電源 投入時刻)で設定された時刻に毎日コンピュータの電源がオンになります。 Weekdays(月~金)では、Auto Power Time(自動電源投入時刻)で設定 された時刻に月曜から金曜までコンピュータの電源がオンになります。 メモ: この機能は、電源タップのスイッチやサージプロテクタでコンピュータを シャットダウンした場合は動作しません。			
Auto Power Time (自動電源投入時刻)	コンピュータに自動的に電源を入れる時刻を設定します。 時刻は標準の12時間形式(時:分)で表示されます。左右の矢印キーを押して 数値を増減するか、日付と時刻のフィールドの両方に数値を入力して、起動す る時刻を変更します。			
Low Power Mode (低電力モード) (デフォルトは On(オン))	Low Power Mode(低電力モード)を選択している場合は、オンボードのネットワークコントローラを介して Hibernate(休止状態)または Off(オフ)からのリモート起動は機能しません。			
Cool and Quiet (Cool 'n' Quiet) (デフォルトは Off (オフ))	サポートされているすべてのプロセッサについて、Cool 'n' Quiet テクノロジの 有効 / 無効を切り替えます。			
Suspend Mode (サスペンドモード) (デフォルトは <b>s3</b> )	コンピュータのサスペンドモードを設定します。選択可能なオプションは、51 (コンピュータが低電力モードで動作するサスペンド状態)と53(多くのコン ポーネントへの供給電力を抑制または停止するサスペンド状態)です。ただし、 システムメモリはアクティブなままです。			
Maintenance (メンテナンス)				
--	--	--	--	--
Service Tag (サービスタグ)	お使いのコンピュータのサービスタグを表示します。			
Load Defaults (デフォルト設定 のロード)	セットアップユーティリティのオプションを工場出荷時のデフォルトに戻します。			
Event Log (イベントログ)	Event Log (イベントログ)を表示することができます。エントリは、確認済 みには R、未確認には U のマークが付きます。Mark All Entries Read (すべ てのエントリを確認済みにする)を選択すると、すべてのエントリの左に R が 付きます。Clear Log (ログのクリア)を選択すると、Event Log (イベント ログ)がクリアされます。			
POST Behavior (POST 動作)				
Fastboot(高速起動) (デフォルトは <b>On</b> (オン))	この機能を有効にすると、互換性に関するいくつかの手順を省いて、コンピュー タの起動時間を短縮できます。Off(オフ)では、コンピュータ起動時にすべて の手順が実行されます。On(オン)に設定すると、システムがより早く起動し ます。			
Numlock Key (Numlock キー) (デフォルトは On (オン) )	キーボード右側の数値キーパッドの機能を決めます。Off(オフ)に設定すると、 数値キーパッドのキーが方向キーとして機能します。On(オン)に設定すると、 数値キーパッドのキーは数値キーとして機能します。			
POST Hotkeys (POST ホットキー) (デフォルトは Setup & Boot Menu (セットアップ & 起動 メニュー))	サインオン画面で Setup (セットアップ) ユーティリティを起動するための キー操作、および Quickboot (クイックブート)機能を使用するためのキー操 作を表示するかどうかを選択します。Setup & Boot Menu (セットアップ & 起動メニュー)を選択すると、両方のメッセージ (F2=Setup および F12=Boot Menu) が表示されます。Setup (セットアップ)を選択すると、セットアップ メッセージ (F2=Setup) だけが表示されます。Boot Menu (起動メニュー)を 選択すると、Quickboot (クイックブート)メッセージ (F12=Boot Menu) だ けが表示されます。None (なし) に設定すると、メッセージが何も表示されま せん。			

Keyboard Errors	Report(報告する)に設定すると、POST実行時にエラーが検出された場合、	
(キーボードエラー)	BIOS によってエラーメッセージが表示され、続行するには <f1> を、セット</f1>	
	アップユーティリティを起動するには <f2> を押すように求められます。</f2>	

Do Not Report(報告しない)に設定すると、POST 実行時にエラーが検出さ れた場合、BIOS によってエラーメッセージが表示され、そのままシステムの起 動が続行されます。

### 起動メニュー

この機能を使って、デバイスの起動順序を変更します。

#### オプション設定

- Bootable Hard Drive(起動可能なハードドライブ) コンピュータはプライマリハードド ライブからの起動を試みます。OS がドライブにない場合、コンピュータはエラーメッセージ を生成します。
- Onboard Floppy Drive(オンボードフロッピードライブ) コンピュータがフロッピード ライブからの起動を試みます。ドライブ内のフロッピーディスクが起動用でない場合、フロッ ピーディスクがドライブにない場合、またはフロッピードライブがコンピュータに取り付けら れていない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- Onboard CD-ROM Drive (オンボード CD-ROM ドライブ) コンピュータは CD ドライブ からの起動を試みます。ドライブに CD がない場合、あるいは CD に OS がない場合、コンピュー タはエラーメッセージを生成します。
- Integrated NIC(内蔵 NIC) コンピュータは内蔵 NIC を使用して起動を試みます。内蔵 NIC が接続されていない場合、コンピュータはエラーメッセージを生成します。
- USB-Device, USB-Floppy, USB-CDROM(USBデバイス、USBフロッピー、USB-CDROM) USB ポートにデバイスを接続し、起動メニューからオプションを選択する前にコンピュータを 再起動します。コンピュータは適切な USB デバイスからの起動を試みます。適切なドライブ またはディスクに OS がない場合は、エラーメッセージが表示されます。
- メモ:USBデバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能デバイスである必要があります。 お使いのデバイスが起動可能かを確認するには、デバイスのマニュアルを参照してください。

#### 一回のみの起動順序の変更

この機能を使用すると、たとえば、フロッピードライブ、メモリキー、または CD-RW ドライブな どの USB デバイスからお使いのコンピュータを再起動できます。

- ✓ メモ: USB フロッピードライブから起動する場合は、まず、セットアップユーティリティで Diskette Interface (ディスケットインタフェース)を Disabled (無効) にする必要があります (103 ページの 「セットアップユーティリティ」を参照)。
  - USB デバイスから起動する場合は、USB デバイスを USB コネクタに接続します (15ページの「コンピュータの正面図」を参照)。
  - 2 コンピュータの電源を入れます(または再起動します)。
  - 3 画面の右上角に F2 = Setup, F12 = Boot Menu と表示されたら、<F12>を押します。 ここで時間をおきすぎて OS のロゴが表示されたら、Microsoft Windows デスクトップが表示 されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして(65ページの「コンピュータ の電源を切る方法」を参照)もう一度やりなおしてみます。
  - 4 <F1> を押して続行します。
     使用可能な起動デバイスをすべて一覧表示した Boot Menu(起動メニュー)が表示されます。
- 5 矢印キーを使用して、一回のみの起動に使用する適切なデバイスを選択します。
- メモ:USBデバイスから起動するには、そのデバイスが起動可能デバイスである必要があります。 お使いのデバイスが起動可能かを確認するには、デバイスのマニュアルを参照してください。

#### 次回からの起動順序の変更

- セットアップユーティリティを起動し、System(システム)グループから Boot Sequence (起動順序)を選択します(105ページの「セットアップユーティリティのオプション」 を参照)。
- 2 <Enter>を押してメニューにアクセスします。

メモ:後で元に戻すこともできるよう、現在の起動順序を控えておきます。

- 3 上下矢印キーを押して、適切な Boot Sequence(起動順序)オプションをハイライト表示します。
- 4 Uまたは D のキーを押して、起動順序内のオプションを上下に移動します。
- 5 <Enter> を押して変更を Save (保存) するか、または <Esc> を押して Cancel (キャンセル) します。

# 忘れたパスワードと CMOS 設定をクリアするには

🥂 警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

#### ジャンパの位置



#### パスワード設定のクリア

- 1 65ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- 2 システム基板(112ページの「ジャンパの位置」を参照)の2ピンパスワードジャンパ(PSWD)の位置を確認し、1番ピンおよび2番ピンにジャンパプラグを取り付けて、パスワードをクリアします。

メモ:工場出荷時は、ジャンパプラグが1番ピンに取り付けられています。

- 3 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 4 コンピュータとモニターをコンセントに接続して、電源を入れます。
- 5 コンピュータに Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> のデスクトップが表示されたら、コンピュータをシャッ トダウンします(65 ページの「コンピュータの電源を切る方法」を参照)。
- 6 モニターの電源を切って、コンセントから外します。
- 1 コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外し、電源ボタンを押して、システム基板の静 電気を除去します。
- 8 コンピュータカバーを取り外します(66ページの「コンピュータカバーの取り外し」を参照)。
- 9 システム基板上にある2ピンパスワードジャンパ(PSWD)の位置を確認し、ジャンパを1番 ピンに取り付けてパスワード機能を有効にします。

- 10 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイ スに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 11 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

#### CMOS 設定のクリア

#### 🥂 警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

- 1 65ページの「作業を開始する前に」の手順に従って作業してください。
- 2 次の手順で、現在の CMOS 設定をリセットします。
  - a システム基板の 2 ピン CMOS ジャンパ(RTCRST)を確認します(112 ページの「ジャン パの位置」を参照)。
  - **b** ジャンパプラグを1番ピンから取り外します。
  - c ジャンパプラグを1番ピンおよび2番ピンに取り付け、約5秒待ちます。
  - d ジャンパプラグを1番ピンに取り付けます。
- 3 コンピュータカバーを取り付けます(98ページの「コンピュータカバーの取り付け」を参照)。
- 注意:ネットワークケーブルを接続するには、まずケーブルを壁のネットワークポートまたはデバイスに差し込み、次にコンピュータに差し込みます。
- 4 コンピュータとデバイスをコンセントに接続して、電源を入れます。

# コンピュータのクリーニング

// 警告:『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意に従い、本項の手順を開始してください。

#### コンピュータ、キーボード、およびモニター

- 警告:コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータの電源ケーブルをコンセントから外します。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。
- 圧縮空気のスプレーを使用して、キーボードのキーの間にあるほこりを除去します。
- 注意:石鹸やアルコール液でモニター画面を拭かないでください。反射防止コーティングが損傷する おそれがあります。
- モニター画面をクリーニングするには、水で軽く湿らした柔らかくて清潔な布を使います。可 能であれば、画面クリーニング専用ティッシュまたはモニターの帯電防止コーティング用に適 した溶液を使ってください。
- キーボード、コンピュータ、およびモニターのプラスチック部分は、水と中性液体洗剤を3対 1で混ぜ合わせた溶液で湿らした柔らかくて清潔なクリーニング布を使って拭きます。
   この溶液に布を浸さないでください。また、コンピュータやキーボードの内部に溶液が入らないようにしてください。

マウス

● 注意:マウスは、コンピュータからあらかじめ外してからクリーニングしてください。 画面のカーソルが飛んだり、異常な動きをする場合は、マウスをクリーニングします。

#### 光学式でないマウスのクリーニング

- 1 薄めたクリーニング液で湿らした布を使って、マウスの外側をクリーニングします。
- 2 マウスの底部にある固定リングを左に回して、ボールを取り出します。
- 3 清潔な、糸くずの出ない布でボールを拭き取ります。
- 4 圧縮空気のスプレーを使用して、ボールが入っているケージ内のほこりや糸くずを注意深く吹き飛ばします。
- 5 ボールが入っているケージのローラーが汚れている場合は、消毒用アルコール(イソプロピル アルコール)を軽く浸した綿棒を使ってローラーの汚れを拭き取ります。
- 6 ローラーが溝からずれてしまった場合は、中央になおします。綿棒の綿毛がローラーに残って いないか確認します。
- 1 ボールと固定リングをマウスに取り付けて、固定リングを右に回して元の位置にはめ込みます。

#### オプティカルマウスのクリーニング

薄めたクリーニング液で湿らした布を使って、マウスの外側をクリーニングします。

#### フロッピードライブ

注意:綿棒でドライブヘッドを拭かないでください。ヘッドの位置がずれてドライブが動作しなくなることがあります。

市販のクリーニングキットを使ってフロッピードライブをきれいにします。市販のキットには通常の動作中に付着した汚れを取り除くよう前処理されたフロッピーディスクが入っています。

#### CDとDVD

- 注意:CD/DVD ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気スプレーに付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。
- CD や DVD がスキップしたり、音質や画質が低下したりする場合は、ディスクを掃除します。
- 1 ディスクの外側の縁を持ちます。中央の穴の縁にも触ることができます。
- 🕞 注意:円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷をつけるおそれがあります。
- 2 やわらかく、糸くずの出ない布でディスクの裏面(ラベルのない側)を中央から外側の縁に向 かって放射状にそっと拭きます。

頑固な汚れは、水、または水と刺激性の少ない石鹸の希釈溶液で試してください。ディスクの 汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリー ナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

# デルハードウェア保証サポートポリシー(米国内のみ)

サポート担当者によるテクニカルサポートでは、トラブルシューティングの過程で、お客様のご協力とご参加が不可欠です。このテクニカルサポートでは、OS、ソフトウェアプログラム、ハードウェアドライバを出荷時のデフォルト設定に復元したり、お使いのコンピュータや工場出荷時に取り付け済みのすべてのハードウェアが適切に機能しているかどうかを検証したりできます。サポート担当者によるサポートだけでなく、support.jp.dell.comでオンラインサポートを利用することもできます。また、有料で利用できるサポートオプションもあります。

デルでは、コンピュータおよび「プリインストールされている」ソフトウェアや周辺機器に対して 限定的なテクニカルサポートを提供しています<sup>1</sup>。サードパーティ製のソフトウェアや周辺機器に 対するサポートは、製品の製造元によって提供されます。それらの製品には、Dell Software and Peripherals、Readyware、カスタムファクトリー統合を通じて購入、インストールされたソフト ウェアや周辺機器も含まれます<sup>2</sup>。

- <sup>1</sup> 修理サービスは、製品保証の契約条項およびコンピュータ購入に際して交わした任意のサポートサービス 契約に従って提供されます。
- <sup>2</sup> カスタムファクトリー統合(CFI)プロジェクトに含まれているすべてのデル標準コンポーネントは、お使いのコンピュータに適用されるデルの標準製品保証の対象となっています。一方で、デルでは、コンピュータのサービス契約期間中、部品交換プログラムを拡張し、CFIで組み込まれたすべての非標準サードパーティ製ハードウェアコンポーネントに対応します。

#### 「プリインストールされている」ソフトウェアと周辺機器の定義

プリインストールされているソフトウェアとは、コンピュータの製造過程でインストールされる OS やソフトウェアプログラム (Microsoft<sup>®</sup> Office、Norton Antivirus など)を指します。

工場出荷時に取り付け済みの周辺機器には、内蔵拡張カードやデルブランドのモジュールベイ、PC カードアクセサリが含まれます。また、デルブランドのモニター、キーボード、マウス、スピー カー、電話モデム用のマイク、ドッキングステーションやポートリプリケータ、ネットワーク製品、 およびすべての関連ケーブルも含まれます。

### 「サードパーティ製」ソフトウェアと周辺機器の定義

サードパーティ製ソフトウェアと周辺機器には、デルが販売し、かつデルブランドでない周辺機器、 アクセサリ、ソフトウェアプログラムが含まれます(プリンタ、スキャナー、カメラ、ゲームな ど)。サードパーティ製のソフトウェアや周辺機器に対するサポートは、これらの製品の製造元に よって提供されます。

# FCC の通達(アメリカ合衆国のみ)

#### FCC クラス B

本装置は、無線周波エネルギーを発生、使用し、放射することがあります。製造者の取扱説明書に 従って設置および使用されない場合、無線通信の受信障害を引き起こすことがあります。この装置 はテストの結果、FCC 規定の第15条に準拠したクラスBのデジタルデバイスに対する制限を満た すことが確認されています。

このデバイスは FCC 規定の第 15 条に準拠しています。デバイスの操作は、次の 2 つの条件の対象になります。

- 1 このデバイスが有害な電波障害を生じさせないこと。
- 2 好ましくない操作を引き起こす可能性のある電波障害を含め、このデバイスが受信した電波障害を受け入れること。

注意:FCC 規定には、デルによる明示的な承認のない変更や修正を行うと、この装置を操作する権限が取り消されることがあると定められています。

これらの制限は、この装置が住宅地域に設置された場合、有害な電波障害から適切に保護されるように設定されたものです。特定の設置方法で電波障害が発生しないという保証はありません。この装置がラジオやテレビの受信に電波障害を引き起こすかどうかはその装置の電源をオンまたはオフにすることによって判定できますので、以下の方法を1つ、またはそれ以上実行して問題を解決してください。

- 受信アンテナの方向を変える。
- 受信機に対するシステムの位置を変える。
- システムを受信機から離す。
- システムを別のコンセントに接続し、システムと受信機が別々の分岐回路に接続されている状態にする。

必要に応じて、弊社のカスタマーケアまたはラジオ / テレビの経験を積んだ技術者に連絡し、 アドバイスを受けてください。

次の情報は、本書で扱っているデバイスに対して、FCC 規定に従って提供されるものです。

製品名: Dell™ Dimension™ C521

モデル番号: DCNE

会社名: Dell Inc. Worldwide Regulatory Compliance & Environmental Affairs One Dell Way Round Rock, TX 78682 USA 512-338-4400

メモ:その他の認可機関の情報については、『製品情報ガイド』を参照してください。

# デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスには、次のアドレスをご利用ください。

- www.dell.com/jp
- support.jp.dell.com  $(\forall \pi \vdash)$
- ✓ **メモ:** 一部の国では、別に表示されている電話番号で Dell XPS™ ノートブックコンピュータ専用のサポートをご利用いただけます。XPS ノートブックコンピュータ専用の電話番号が表示されていない場合は、表示されているサポートの番号でデルに電話をかけると、担当者に転送されます。

デルへお問い合わせになる場合は、次の表の E- メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用 ください。国際電話のかけ方に関しては、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国(市) 国際電話アクセスコード 国番号市外局番	部署名またはサービス内容、 ウェブサイトおよび E- メールアドレス	市外局番 市内番号、または フリーダイヤル
日本(川崎)	ウェブサイト:support.jp.dell.com	
国際電話アクセスコード: 001	テクニカルサポート(サーバー)	フリーダイヤル: 0120-198-498
国番号:81	テクニカルサポート(Dimension および Inspiron)	フリーダイヤル: 0120-198-226
市外局番: <b>44</b>	テクニカルサポート(海外から)(Dimension および Inspiron)	81-44-520-1435
	FAX 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部(従業員数 400 人未満)	044-556-1465
	法人営業本部(従業員数 400 人以上)	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部(従業員数 <b>3500 人</b> 以上)	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

### 118 | 付録

# 用語集

この用語集に収録されている用語は、情報の目的 として提供されています。お使いのコンピュータ に搭載されている機能についての記載がない場合 もあります。

# A

AC — alternating current (交流) — コンピュータ の AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込 むと供給される電気の様式です。

ACPI — advanced configuration and power interface — Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> OS がコンピュータをスタン バイモードや休止状態モードにして、コンピュータ に接続されている各デバイスに供給される電力量を 節約できる電源管理規格です。

AGP — accelerated graphics port — システムメモ リをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用 のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ 回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高 速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージ を伝送できます。

AHCI — Advanced Host Controller Interface — SATA ハードドライブホストコントローラのインタ フェースです。ストレージドライバは、これによっ てネイティブコマンドキューイング(NCQ)やホッ トプラグのようなテクノロジを有効にできます。

**ALS** — ambient light sensor — アンビエントライト センサー。

ASF — alert standards format — 管理コンソール にハードウェアとソフトウェアの警告を報告する方 式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォー ムや OS にも対応できるよう設計されています。

# В

BIOS — basic input/output system (基本入出力シ ステム) — コンピュータのハードウェアと OS 間の インタフェースの役割をするプログラム(またはユー ティリティ)です。設定がコンピュータにどのよう な影響を与えるのか理解できていない場合は、この プログラムの設定を変更しないでください。「セッ トアップユーティリティ」とも呼ばれています。

**Bluetooth<sup>®</sup> ワイヤレステクノロジ** — 短距離内 (9 メートル)にある複数のネットワークデバイス が、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤ レステクノロジ標準です。

**bps** — ビット / 秒 — データの転送速度を計測する 単位です。

**BTU** — British thermal unit (英国熱量単位) — 発熱量の単位です。

# С

C — セルシウス(摂氏) — 温度の測定単位で、 水の氷点を0℃、沸点を100℃としています。

CD-R — CD recordable — 書き込み可能な CD です。 CD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録 したデータは消去したり、上書きしたりすることは できません。

**CD-RW** — CD rewritable — 書き換え可能な CD で す。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削 除したり上書き(再書き込み)したりできます。 CD-RW/DVD ドライブ — 「コンボドライブ」とも 呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取った り、CD-RW(書き換え可能な CD)ディスクや CD-R (書き込み可能な CD)ディスクにデータを書き込ん だりすることができるドライブです。CD-RW ディス クには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW ドライブ — CD のデータを読み取ったり、 CD-RW (書き換え可能な CD) ディスクや CD-R (書き込み可能な CD) ディスクにデータを書き込 んだりすることができるドライブです。CD-RW デ ィスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、 CD-R ディスクには一度しか書き込むことができ ません。

**COA** — Certificate of Authenticity(実物証明書)— お使いのコンピュータのラベルに記載されている Windowsの英数文字のコードです。「Product Key」 (プロダクトキー)や「Product ID」(プロダクト ID) とも呼ばれます。

**CRIMM** — continuity rambus in-line memory module(連続式 RIMM) — メモリチップの搭載さ れていない特殊なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに装着するために使用されます。

# D

**DDR SDRAM** — double-data-rate SDRAM (ダブル データ速度 SDRAM) — データバーストサイクルを 2 倍にする SDRAM の一種です。システムの性能が 向上します。

**DDR2 SDRAM** — double-data-rate 2 SDRAM (ダブルデータ速度 2 SDRAM) — 4 ビットプリ フェッチおよびその他のアーキテクチャ上の変更に より、メモリ速度を 400 MHz 以上にした DDR SDRAM の一種です。

**DIMM** — dual in-line memory module — システム 基板のメモリモジュールに接続されるメモリチップ を搭載した回路基板です。 DIN コネクタ — 丸い 6 ピンのコネクタで、DIN (ドイツ工業規格)に準拠しています。通常は PS/2 キーボードやマウスケーブルのコネクタに使用 されます。

**DMA** — direct memory access — DMA チャネルを 使うと、ある種の RAM とデバイス間でのデータ転 送がプロセッサを介さずに行えるようになります。

DMTF — Distributed Management Task Force — 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、および インターネット環境における管理標準を開発する ハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

**DRAM** — dynamic random-access memory — コ ンデンサを含む集積回路内に情報を保存するメモリ です。

**DSL** — Digital Subscriber Line(デジタル加入者回 線) — アナログ電話回線を介して、安定した高速イ ンターネット接続を提供するテクノロジです。

DVD+RW — DVD rewritable — 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込ん だ後、削除したり上書き(再書き込み)したりでき ます(DVD+RW テクノロジは DVD-RW テクノロジ とは異なります)。

DVD+RW ドライブ — DVD とほとんどの CD メディ アを読み取ることができるドライブです。DVD+RW (書き換え可能な DVD)ディスクに書き込むことも できます。

DVD-R — DVD recordable — 書き込み可能な DVD です。DVD-R にはデータを一度だけ記録できます。 一度記録したデータは消去したり、上書きしたりす ることはできません。

**DVI** — digital video interface — コンピュータとデ ジタルビデオディスプレイ間のデジタル転送用の標 準です。 ECC — error checking and correction(エラーチェッ クおよび訂正)— メモリにデータを書き込んだり、 メモリからデータを読み取ったりするときに、デー タの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメ モリです。

ECP — extended capabilities port — 改良された双方 向のデータ送信を提供するパラレルコネクタのデザ インです。EPP に似て、ECP はデータ転送にダイレク トメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

**EIDE** — enhanced integrated device electronics — ハードドライブと CD ドライブ用の IDE インタフェー スの改良バージョンです。

**EMI** — electromagnetic interference(電磁波障 書) — 電磁放射線が原因で起こる電気障害です。

**ENERGY STAR<sup>®</sup>** — Environmental Protection Agency(米国環境保護局)が規定する、全体的な電 力の消費量を減らす要件です。

**EPP** — enhanced parallel port — 双方向のデータ送 信を提供するパラレルコネクタのデザインです。

ESD — electrostatic discharge(静電気放出) — 静 電気の急激な放出のことです。ESD は、コンピュー タや通信機器に使われている集積回路を損傷するこ とがあります。

ExpressCard — PCMCIA 規格に準拠している取り 外し可能な I/O カードです。ExpressCard カードの 一般的なものには、モデムやネットワークアダプタ があります。ExpressCard は、PCI Express と USB 2.0 の両方の標準規格をサポートしています。

# F

**FAHRENHEIT(華氏)** — 温度の単位で、水の氷点 を 32°、沸点を 212°としています。

**FBD** — fully-buffered DIMM(完全バッファ型 DIMM) — DDR2 SDRAM チップと、DDR2 SDRAM チップとシステムの間の通信を高速化する Advanced Memory Buffer (AMB)を搭載した DIMM です。

FCC — Federal Communications Commission (米国連邦通信委員会) — コンピュータやその他の 電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連 の条例を執行するアメリカの機関です。

**FSB** — front side bus — プロセッサと RAM の間の データ経路および物理的なインタフェースです。

**FTP** — file transfer protocol(ファイル転送プロト コル)— インターネットに接続されているコン ピュータ間でのファイルの交換に利用される標準の インターネットプロトコルです。

# G

G - グラビティ - 重力の計測単位です。

**GB** — ギガバイト — データの単位です。1 GB は 1024 MB(1,073,741,824 バイト)です。ハードド ライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

GHz — ギガヘルツ — 周波数の計測単位です。1 GHz は 10 億 Hz または 1,000 MHz です。通常、コンピュー タのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度 は GHz 単位で計測されます。 GUI — graphical user interface — メニュー、ウィ ンドウ、およびアイコンでユーザーとやり取りする 対話型ソフトウェアです。Windows OS で動作する ほとんどのプログラムは GUI です。

# Η

**HTTP** — hypertext transfer protocol — インター ネットに接続されているコンピュータ間でのファイ ル交換用プロトコルです。

Hz — ヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間1 サイク ルで周波数1 Hz です。コンピュータや電子機器で は、キロヘルツ(kHz)、メガヘルツ(MHz)、ギ ガヘルツ(GHz)、またはテラヘルツ(THz)単位 で計測される場合もあります。

# I

I/O — input/output (入出力) — コンピュータに データを入力したり、コンピュータからデータを出 力したりする動作またはデバイスです。キーボード やプリンタは I/O デバイスです。

I/O アドレス 一 特定のデバイス (シリアルコネク タ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど) に関連する RAM のアドレスで、プロセッサがデバ イスと通信できるようにします。

IC — integrated circuit(集積回路)— コンピュー タ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、 何百万もの極小電子コンポーネントが搭載されてい る半導体基板またはチップです。

IDE — integrated device electronics 聖な ハードド ライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵さ れている大容量ストレージデバイス用のインタフェー スです。 IEEE 1394 — Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. — コンピュータにデジタルカメラや DVD プレーヤーなどの、IEEE 1394 互換デバイスを 接続するのに使用される高性能シリアルバスです。

**IrDA** — Infrared Data Association — 赤外線通信の 国際標準を作成する組織です。

IRQ — interrupt request (割り込み要求) — 特定の デバイスがマイクロプロセッサと通信できるように、 デバイスに割り当てられた電子経路。すべてのデバ イス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2つ のデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできます が、両方のデバイスを同時に動作させることはでき ません。

ISP — Internet service provider(インターネット サービスプロバイダ)— インターネットへの接続、 E-メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセ スを行うためにホストサーバーへのアクセスを提供 する機関です。通常、ISP はソフトウェアのパッ ケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号 を有料(月払い)で提供します。

# K

Kb - キロビット - (Kb) 1024 ビットに相当するデー タの単位です。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB-キロバイト-データの単位です。1 KB は 1024 バイトです。または 1000 バイトとすることもあり ます。

**kHz** — キロヘルツ — (kHz)1000 Hz に相当する周 波数の単位です。 L

LAN — local area network (ローカルエリアネット ワーク) — 狭い範囲にわたるコンピュータネット ワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や 電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN (ワ イドエリアネットワーク)を構成できます。

LCD — liquid crystal display (液晶ディスプレイ) — ノートブックコンピュータのディスプレイやフラッ トパネルのディスプレイに用いられる技術です。

**LED** — light-emitting diode(発光ダイオード) — コンピュータのステータスを示す光を発する電子コ ンポーネントです。

LPT — line print terminal — プリンタや他のパラレ ルデバイスへのパラレル接続の指定先です。

### Μ

**Mb** — メガビット — (Mb) 1,024 Kb に相当するメ モリチップの容量の単位です。

MB — メガバイト — データの単位です。1 MB は 1,048,576 バイトです。または 1,024 KB を表しま す。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、 1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されること もあります。

**MB/sec** — メガバイト / 秒 — 1,000,000 バイト / 秒 です。通常、データの転送速度の計測単位に使用し ます。

**Mbps** — メガビット / 秒 — (Mbps) 1,000,000 ビット / 秒。通常、ネットワークやモデム などのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MHz — メガヘルツ — 周波数の単位です。 1,000,000 サイクル / 秒です。通常、コンピュータの プロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。 ms — ミリ秒 — 1000 分の 1 秒に相当する時間の単 位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の 計測に使用します。

### Ν

NIC ―「ネットワークアダプタ」を参照してください。

ns — ナノ秒 — 10 億分の 1 秒に相当する時間の単 位です。

NVRAM — nonvolatile random access memory (不揮発性ランダムアクセスメモリ) — コンピュー タの電源が切れたり、外部電源が停止したりした場 合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、日付、時刻、およびお客様が設定できるその他 のセットアップオプションなどのコンピュータ設定 情報を維持するのに利用されます。

### Ρ

PCI — peripheral component interconnect — PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータ経路をサポー トするローカルバスで、プロセッサとビデオ、各種 ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速デー タ経路を提供します。

PCI Express — PCI インタフェースの改良版で、プロセッサとそれに接続されているデバイスの間のデータ転送を高速化します。PCI Express は、250 MB/ 秒~4 GB/ 秒でデータを転送できます。PCI Express チップセットとデバイスがサポートしている速度が異なる場合は、これより低速になります。

**PCMCIA** — Personal Computer Memory Card International Association — PC カードの規格を協議 する国際的組織です。

PC カード — PCMCIA 規格に準拠している取り外し 可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、 モデムやネットワークアダプタがあります。 **PIO** — programmed input/output — データパスの 一部としてプロセッサを経由した、2 つのデバイス 間のデータ転送方法です。

**POST** — power-on self-test (電源投入時の自己テス ト) — BIOS が自動的にロードする診断プログラム です。メモリ、ハードドライブ、およびビデオなど のコンピュータの主要コンポーネントの基本的なテ ストを実行します。POST で問題が検出されなかっ た場合、コンピュータは起動を続行します。

**PS/2** — personal system/2 — PS/2 互換のキーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタです。

**PXE** — pre-boot execution environment — WfM (Wired for Management) 標準で、OS がないネット ワークコンピュータを設定し、リモートで起動でき るようにします。

### R

**RAID** — redundant array of independent disks — データの冗長性を提供する方法です。一般的に実装 される RAID には、RAID 0、RAID 1、RAID 5、 RAID 10、および RAID 50 があります。

RAM — random-access memory(ランダムアクセ スメモリ)— プログラムの命令やデータを保存する コンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保 存されている情報は、コンピュータをシャットダウ ンすると失われます。

readme ファイル — ソフトウェアのパッケージま たはハードウェア製品に添付されているテキスト ファイルです。通常、readme ファイルには、イン ストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、 マニュアルに記載されていない修正などが記載され ています。 RFI — radio frequency interference(無線電波障 書) — 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常 の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁 周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波 よりも障害を起こしやすい傾向があります。

ROM — read-only memory (読み取り専用メモリ) — コンピュータが削除したり書き込んだりできない データやプログラムを保存するメモリです。RAM と 異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内 容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプ ログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあ ります。

**RPM** — revolutions per minute — 1 分間に発生す る回転数です。ハードドライブ速度の計測に使用し ます。

RTC — real time clock — システム基板上にあるバッ テリーで動く時計で、コンピュータの電源を切った 後も、日付と時刻を保持します。

**RTCRST** — real-time clock reset — 一部のコンピュー タに搭載されているシステム基板上のジャンパで、 問題が発生した場合のトラブルシューティングに利 用できます。

# S

S ビデオ TV 出力 — テレビまたはデジタルオーディ オデバイスをコンピュータに接続するために使われ るコネクタです。

S/PDIF — Sony/Philips Digital Interface — ファイル の質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せ ずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディ オを転送できるオーディオ転送用ファイルフォー マットです。 **SAS** — serial attached SCSI — 従来のパラレル SCSI に対し、より高速なシリアル形式の SCSI インタフェー スです。

**SATA** — serial ATA — より高速なシリアル形式の ATA(IDE)インタフェースです。

SCSI — small computer system interface — ハード ドライブ、CD ドライブ、プリンタ、スキャナーな どのデバイスをコンピュータに接続するのに使用さ れる高速インタフェースです。SCSI は、1 つのコン トローラで多くのデバイスを接続できます。各デバ イスは、SCSI コントローラのバス上の個々の識別番 号によってアクセスされます。

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory(同期ダイナミックランダムアクセスメモ リ) — プロセッサの最適クロック速度と同期された DRAM の一種です。

SIM — Subscriber Identity Module — SIM カードに は、音声およびデータの転送を暗号化するマイクロ チップが搭載されています。電話やポータブルコン ピュータに使用できます。

Strike Zone™— ハードドライブを保護するために 強化されたプラットフォームベース部分です。コン ピュータの電源がオンのときでもオフのときでも、 コンピュータを落としたとき、または振動などの ショックが与えたれたときに、衝撃吸収体として機 能します。

**SVGA** — super-video graphics array — ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準規格です。SVGAの通常の解像度は800×600および1024×768です。

プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュー タに取り付けられているモニター、ビデオコントロー ラとドライバの性能、およびビデオメモリの容量に よって異なります。

**SXGA** — super-extended graphics array — 1280 × 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

**SXGA+** — super-extended graphics array — 1400 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

# Т

**TAPI** — telephony application programming interface — 音声、データ、ファックス、ビデオな どの各種テレフォニーデバイスを Windows のプロ グラムで使用できるようにするインタフェースです。

**TPM** — trusted platform module(信頼済みプラットフォームモジュール) — セキュリティソフトウェアと組み合わせて使用した場合に、ファイルや E-メールなどの保護機能を有効にすることでネットワークとコンピュータのセキュリティが強化される、ハードウェアベースのセキュリティ機能です。

# U

**UMA** — unified memory allocation — ビデオに動的に割り当てられるシステムメモリです。

UPS — uninterruptible power supply (無停電電源 装置) — 電気的な障害が起きた場合や、電圧レベル が低下した場合に使用されるバックアップ電源です。 UPS を設置すると、電源が切れた場合でも限られた 時間コンピュータは動作することができます。通常、 UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。 小型の UPS システムで数分間電力を供給するので、 コンピュータをシャットダウンすることが可能です。 USB — universal serial bus — USB 互換キーボー ド、マウス、ジョイスティック、スキャナー、ス ピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス (DSL およびケーブルモデム)、撮像装置、または ストレージデバイスなどの低速デバイス用ハード ウェアインタフェースです。コンピュータの4ピン ソケットかコンピュータに接続されたマルチポート ハブに直接デバイスを接続します。USB デバイス は、コンピュータの電源が入っていても接続したり 取り外したりすることができます。また、デージー チェーン型に接続することもできます。

**UTP** — unshielded twisted pair (シールドなしツイ ストペア) — ほとんどの電話回線利用のネットワー クやその他の一部のコンピュータネットワークで利 用されているケーブルの種類です。電磁波障害から 保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほど こす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじ られています。

**UXGA** — ultra extended graphics array — 1600 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコ ントローラのビデオ標準です。

### V

V — ボルト — 電位または起電力の計測単位です。 1 V は、1 アンペアの電流が1オームの抵抗器を通 過するときの電圧です。

### W

₩ — ワット — 電力の計測単位です。1 ワットは1 ボルトで流れる1 アンペアの電流を指します。

WHr - ワット時 - おおよそのバッテリー容量を示 すのに通常利用される計測単位です。たとえば、 66 WHr のバッテリーは 66 W の電力を 1 時間、 または 33 W を 2 時間供給できます。 WLAN — wireless local area network(ワイヤレス ローカルエリアネットワーク)。インターネットア クセスを実現するために、アクセスポイントまたは ワイヤレスルーターを使用し、エアウェーブを介し て相互に通信する、相互接続された一連のコンピュー タです。

WWAN — wireless wide area network(ワイヤレ スワイドエリアネットワーク)。携帯電話技術を利 用して WLAN よりも格段に広い地理範囲を網羅する ワイヤレス高速データネットワークです。

WXGA — wide-aspect extended graphics array — 1280 × 800 までの解像度をサポートするビデオカー ドやコントローラのビデオ標準です。

# Х

XGA — extended graphics array — 1024 × 768 ま での解像度をサポートするビデオカードやコントロー ラのビデオ標準です。

# Ζ

**ZIF** — zero insertion force — コンピュータチップと ソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チッ プを取り付けまたは取り外しできる、ソケットやコ ネクタの一種です。

Zip — 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファ イルといい、通常、ファイル名の拡張子が.zip とな ります。特別な Zip ファイルに自己解凍型ファイル があり、ファイル名の拡張子は.exe となります。 自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリック するだけで自動的に解凍できます。 ZIP ドライブ — Iomega Corporation によって開発 された大容量のフロッピードライブで、Zip ディス クと呼ばれる 3.5 インチのリムーバブルディスクを 使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディ スクよりもやや大きく約2倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

# あ

**アンチウイルスソフトウェア** — コンピュータから ウイルスを見つけ出して隔離し、除去するように設 計されたプログラムです。

ウイルス — 嫌がらせ、またはコンピュータのデータ を破壊する目的で作られたプログラムです。ウィル スプログラムは、感染したディスク、インターネッ トからダウンロードしたソフトウェア、または E-メールの添付ファイルを経由してコンピュータから 別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染した プログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウ イルスも起動します。

一般的なウィルスに、フロッピーディスクのブート セクターに潜伏するブートウィルスがあります。フ ロッピーディスクを挿入したままコンピュータを シャットダウンすると、次の起動時に、コンピュー タは OS を探すためフロッピーディスクのブートセ クターにアクセスします。このアクセスでコンピュー タがウイルスに感染します。一度コンピュータがウ イルスに感染すると、ブートウイルスは除去される まで、読み書きされるすべてのフロッピーディスク にウイルスをコピーします。

**エクスプレスサービスコード** — Dell™ コンピュー タのラベルに付いている数字のコードです。デルに お問い合わせの際は、エクスプレスサービスコード をお伝えください。エクスプレスサービスコードが 利用できない国もあります。 オプティカルドライブ — CD、DVD または DVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするド ライブです。オプティカルドライブには、CD ドラ イブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブが含まれます。

### か

カーソル — キーボード、タッチパッドまたはマウス が次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面 上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライ ン、または小さな矢印で表示されます。

解像度 — プリンタで印刷される画像や、モニターに 表示される画像がどのくらい鮮明かという度合です。 解像度を高い数値に設定しているほど鮮明です。

**書き込み不可に設定** — ファイルやメディアに、データの内容を変更不可に設定することです。書き込み 保護を設定しデータを変更または破壊されることの ないように保護します。3.5 インチのフロッピーディ スクに書き込み保護を設定する場合、書き込み保護 設定タブをスライドさせて書き込み不可の位置にし ます。

**拡張カード** — コンピュータのシステム基板上の拡張 スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータ の性能を向上させます。拡張カードの例には、ビデ オ、モデム、およびサウンドカードなどがあります。

**拡張型 PC カード** — 拡張型 PC カードは、取り付け た時に PC カードスロットからカードの端がはみ出 ています。

**拡張スロット** — 拡張カードを挿入してシステムバス に接続する、システム基板上(コンピュータによっ て異なる場合もあります)のコネクタです。 **拡張ディスプレイモード** — お使いのディスプレイの 拡張として、2 台目のモニターを使えるようにする ディスプレイの設定です。「デュアルディスプレイ モード」とも呼ばれます。

壁紙 — Windows デスクトップの背景となる模様や 絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロー ルパネルから変更します。また、気に入った絵柄を 読み込んで壁紙を作成することができます。

キーの組み合わせ — 同時に複数のキーを押してコン ピュータを操作します。

起動可能 CD — コンピュータを起動するのに使用する CD です。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動可能な CD またはフロッピーディスクが必要になりますので、常備しておきます。『*Drivers and Utilities* CD』または『*Resource* CD』が起動可能な CD です。

起動可能ディスク — コンピュータを起動するのに使用するディスクです。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、 起動可能な CD またはフロッピーディスクが必要になりますので、常備しておきます。

起動順序 — コンピュータが起動を試みるデバイスの 順序を指定します。

**キャッシュ** — 特殊な高速ストレージ機構で、メイン メモリの予約領域、または独立した高速ストレージ デバイスです。キャッシュは、プロセッサのオペレー ションスピードを向上させます。

L1 キャッシュ -- プロセッサの内部に設置されているプライマリキャッシュ。

L2 キャッシュ — プロセッサに外付けされた、また はプロセッサアーキテクチャに組み込まれたセカン ダリキャッシュ。 **休止状態モード** — メモリ内のすべてをハードドライ ブ上の予約領域に保存してからコンピュータの電源 を切る、省電力モードです。コンピュータを再起動 すると、ハードドライブに保存されているメモリ情 報が自動的に復元されます。

**グラフィックモード** — x水平画素数、y垂直画素数、 および z 色数で表されるビデオモードです。 グラフィックモードは、どんな形やフォントも表現でき ます。

クロック速度 — システムバスに接続されているコン ピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作 するかを示す、MHz で示される速度です。

国際通行許可書 — 物品を外国に一時的に持ち込むことを許可する国際通関用文書です。「商品パスポート」とも呼ばれます。

コントローラ -- プロセッサとメモリ間、またはプロ セッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップ です。

コントロールパネル 一 画面設定などの OS やハード ウェアの設定を変更するための Windows ユーティ リティです。

# さ

サージプロテクタ — 雷などが原因で、コンセントを 介してコンピュータに影響を与える電圧変動から、 コンピュータを保護します。サージプロテクタは、 落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 % 以上低 下する電圧変動による停電からはコンピュータを保 護することができません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護できません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークケーブルを

**サービスタグ** — コンピュータに貼ってあるバーコー ドラベルのことで、デルサポートの

support.jp.dell.com にアクセスしたり、デルのカ スタマーサービスやテクニカルサポートに電話でお 問い合わせたりする場合に必要な識別番号が書いて あります。

**システム基板** — コンピュータに搭載されている主要 回路基板です。「マザーボード」とも呼ばれます。

**指紋リーダー** — コンピュータのセキュリティの一環 としてユーザーの認証に指紋を使用するストリップ センサーです。

ショートカット 一 頻繁に使用するプログラム、ファ イル、フォルダ、およびドライブにすばやくアクセ スできるようにするアイコンです。ショートカット を Windows デスクトップ上に作成し、ショート カットアイコンをダブルクリックすると、それに対 応するフォルダやファイルを検索せずに開くことが できます。ショートカットアイコンは、ファイルが 置かれている場所を変更するわけではありません。 ショートカットアイコンを削除しても、元のファイ ルには何の影響もありません。また、ショートカッ トのアイコン名を変更することもできます。

シリアルコネクタ — コンピュータにハンドヘルドデ ジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを 接続するためによく使用される I/O ポートです。

スキャンディスク — ファイル、フォルダ、および ハードディスク上にエラーがないかどうかをチェッ クする Microsoft ユーティリティです。コンピュー タの反応が止まって、コンピュータを再起動した際 にスキャンディスクが実行されることがあります。

スタンバイモード — コンピュータの不必要な動作 をシャットダウンして電力を節約する省電力モード です。 スマートカード — プロセッサとメモリチップに内蔵 されているカードです。スマートカードは、スマー トカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利 用できます。

赤外線センサー — ケーブルを使用しなくても、コン ピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送がで きるポートです。

セットアッププログラム — ハードウェアやソフト ウェアをインストールしたり設定したりするのに使 うプログラムです。setup.exe または install.exe というプログラムがほとんどの Windows 用ソフト ウェアに付属しています。「セットアッププログラ ム」は「セットアップユーティリティ」とは異なり ます。

**セットアップユーティリティ** — コンピュータのハー ドウェアと OS 間のインタフェース機能を持つユー ティリティです。セットアップユーティリティを使 用して、BIOS で、日時やシステムパスワードなどの ユーザー定義可能なオプションを設定できます。設 定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理 解できていない場合は、このプログラムの設定を変 更しないでください。

# た

通知領域 — コンピュータの時計、音量調節、および プリンタの状況など、プログラムやコンピュータの 機能に素早くアクセスできるアイコンが表示されて いる Windows タスクバーの領域です。「システム トレイ」とも呼ばれます。 **ディスクのストライピング** — 複数のディスクドライ ブにまたがってデータを分散させる技術です。ディ スクスのトライピングは、ディスクストレージから データを取り出す動作を高速化します。通常、ディ スクのストライピングを利用しているコンピュータ ではユーザーがデータユニットサイズまたはストラ イプ幅を選ぶことができます。

テキストエディタ — たとえば、Windows のメモ帳 など、テキストファイルを作成および編集するため のアプリケーションプログラムです。テキストエ ディタには通常、ワードラップやフォーマット(ア ンダーラインのオプションやフォントの変更など) の機能はありません。

**デバイス** — ディスクドライブ、プリンタ、キーボードなどコンピュータに内蔵または外付けされたハードウェアです。

**デバイスドライバ**ー「ドライバ」を参照してください。

**デュアルディスプレイモード** — お使いのディスプレ イの拡張として、2 台目のモニターを使えるように するディスプレイの設定です。「拡張ディスプレイ モード」とも呼ばれます。

**ドッキングデバイス**-「APR」を参照してください。

**ドメイン** — ネットワーク上のコンピュータ、プログ ラム、およびデバイスのグループで、特定のユー ザーグループによって使用される共通のルールと手 順のある単位として管理されます。ドメインにログ オンすることで、リソースにアクセスできるように なります。

**ドライバ** — プリンタなどのデバイスを、OS が制御 できるようにするためのソフトウェアです。多くの デバイスは、コンピュータに正しいドライバがイン ストールされていない場合、正常に動作しません。

トラベルモジュール — ノートブックコンピュータの 重量を減らすために、モジュールベイの中に設置で きるよう設計されているプラスチック製のデバイス です。

# な

**内蔵** 一 通常、コンピュータのシステム基板上に物理 的に搭載されているコンポーネントを指します。 「ビルトイン」とも呼ばれます。

ネットワークアダプタ — ネットワーク機能を提供す るチップです。コンピュータのシステム基板にネッ トワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが 内蔵されている PC カードもあります。ネットワー クアダプタは、「NIC」(ネットワークインタフェー スコントローラ)とも呼ばれます。

# は

パーティション --------------------------------ジ領域です。1つ以上の論理ストレージ領域(論理ドライブ)に割り当てられます。それぞれのパーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

**ハードドライプ** — ハードディスクのデータを読み書 きするドライブです。ハードドライブとハードディ スクは同じ意味としてどちらかが使われています。

**バス** — コンピュータのコンポーネント間で情報を通 信する経路です。

**バス速度** — バスがどのくらいの速さで情報を転送で きるかを示す、MHz で示される速度です。

**バッテリー駆動時間** — ノートブックコンピュータの バッテリーがコンピュータに電源を供給する間、充 電量を維持できる時間(分または時間数)です。

**バッテリーの寿命** — ノートブックコンピュータの バッテリーが、消耗と再充電を繰り返すことのでき る期間(年数)です。 **パラレルコネクタ** — パラレルプリンタをコンピュー タに接続する場合などに使用される I/O ポートです。 「LPT ポート」とも呼ばれます。

**ヒートシンク** — 放熱を助けるプロセッサに付属する 金属板です。

**ピクセル** — ディスプレイ画面のシングルポイントです。画像は、ピクセルを縦横に配置することで作成されます。ビデオの解像度(800 × 600 など)は、 上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

**ビット** --- コンピュータが認識するデータの最小単位 です。

ビデオ解像度一「解像度」を参照してください。

**ビデオコントローラ** — お使いのコンピュータに(モニターの組み合わせにおいて)ビデオ機能を提供するビデオカードまたは(オンボードビデオコントローラ搭載のコンピュータの)システム基板の回路です。

ビデオメモリ — ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。ビデオメモリの容量によって、プログラムで表示できる色数が大きく左右されます。

**ビデオモード** — テキストやグラフィックスをモニ ターに表示する際のモードです。グラフィックスを ベースにしたソフトウェア(Windows OS など) は、x水平ピクセル数 × y垂直ピクセル数 × z 色数 で表されるビデオモードで表示されます。文字を ベースにしたソフトウェア(テキストエディタな ど)は、x列×y行の文字数で表されるビデオモー ドで表示されます。

フォーマット — ファイルを保存するためにドライブ やディスクを準備する工程のことです。ドライブま たはディスクをフォーマットするとデータはすべて 消失します。 **フォルダ** — ディスクやドライブ上のファイルを整頓 したりグループ化したりするスペースを表す用語で す。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズ などの順番で表示できます。

プラグアンドプレイ — コンピュータがデバイスを自動的に設定できる機能です。BIOS、OS、およびすべてのデバイスがプラグアンドプレイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

プロセッサ - プログラム命令を解析して実行するコンピュータチップです。プロセッサは、CPU(中央 演算処理装置)とも呼ばれます。

### ま

ミニ PCI ─ モデムや NIC などの通信を重視した内蔵 周辺機器の標準です。ミニ PCI カードは、標準の PCI 拡張カードと同等の機能を持つ小型の外付けカード です。

**ミニカード** — 通信 NIC などの内蔵周辺機器用に設計 された小型のカードです。ミニカードは標準の PCI 拡張カードと同等の機能を持ちます。

**メディアベイ** — オプティカルドライブ、セカンド バッテリー、または Dell TravelLite™ モジュールな どのようなデバイスをサポートするベイです。

メモリ — コンピュータ内部にある、一時的にデータ を保存する領域です。メモリにあるデータは一時的 に格納されているだけなので、作業中は時々ファイ ルを保存するようお勧めします。また、コンピュー タをシャットダウンするときもファイルを保存して ください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM およびビデオメモリなど何種類かあります。通常、 メモリというと RAM メモリを指します。 **メモリアドレス** — データを一時的に RAM に保存す る特定の場所です。

**メモリマッピング** - スタートアップ時に、コンピュー タが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てるプ ロセスです。デバイスとソフトウェアが、プロセッ サによりアクセスできる情報を識別できるようにな ります。

**メモリモジュール** — システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

**モジュールベイ** — 「メディアベイ」を参照してください。

モデム — アナログ電話回線を介して他のコンピュー タと通信するためのデバイスです。モデムには、外 付けモデム、PC カード、および内蔵モデムの3種類 があります。通常、モデムはインターネットへの接 続や E- メールの交換に使用されます。

# や

読み取り専用 — 表示することはできますが、編集したり削除したりすることができないデータやファイルです。次のような場合に読み取り専用になります。

フロッピーディスク、CD、または DVD を書き込み 防止にしている場合

ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、 システム管理者が特定の個人だけにアクセス権限を 許可している場合

# 6

**リフレッシュレート** — 画面上のビデオイメージが再 描画される周波数です。単位は Hz で、このリフ レッシュレートの周波数で画面の水平走査線(また は垂直周波数)が再描画されます。リフレッシュ レートが高いほど、ビデオのちらつきが少なく見え ます。

**ローカルバス** — デバイスにプロセッサへの高速ス ループットを提供するデータバスです。

# 索引

### В

BIOS, 103

### C

CD, 25 OS, 13 再生,23 CD/DVD ドライブ 取り出しボタン,16 動作ライト,16 問題,37 CD-RW ドライブ 問題,37 CD および DVD の再生, 23 CDのコピー 一般情報,25 便利なヒント,27 方法,26 CMOS 設定 クリア, 112-113

### D

Dell Diagnostics(診断) プログラム,57 Drivers and Utilities CD,9 DVD,25 再生,23 DVD ドライブ 問題,37 DVD のコピー 一般情報,25 便利なヒント,27 方法,26

### Ε

E- メール 問題,38

### F

Flex Bay ドライブ メディアカードリーダー, 16

### 0

OS Windows XP の再インス トール , 61 再インストール , 13

### Ρ

PCI カード 取り外し,79 取り付け,76

### R

ResourceCD, 57

### S

SATA「シリアル ATA」を参照

### U

USB コネクタ , 16 デバイスからの起動 , 111

### V

VGA コネクタ , 19

#### W

Windows XP 再インストール,13,61 システムの復元,61 スキャナー,48 デバイスドライバのロール バック,60 ネットワークセットアップ ウィザード,30 ハードウェアに関するトラ ブルシューティング,61 プログラム互換性ウィザー ド,41 ヘルプとサポートセン ター,12

### あ

安全にお使いいただくための 注意,10

#### こ

インターネット 接続、オプション,22 接続、説明,22 問題,38 インターネット接続 セットアップ,22

### う

ウィザード ネットワークセットアップ ウィザード,30 プログラム互換性ウィザー ド,41

### え

エラーメッセージ 診断ライト,53 トラブルシューティング,39 エンドユーザーライセンス 契約,10

### お

オーディオ「サウンド」を参照

### か

カード PCI, 75 PCI Express, 75 PCI Express, 75 PCI スロット, 17 PCI の取り外し, 79 PCI の取り付け, 76 サポートされる種類, 75 スロット, 17, 75 快適な使い方, 10 カバー 取り外し, 66 取り付け, 98

### き

キーボード 問題 , 40 起動 USB デバイスから , 111 起動順序 オプション設定 , 110 説明 , 110 変更 , 111 休止状態モード , 31, 33

### こ

コネクタ USB, 16 VGA, 19 電源, 17 ビデオ, 19 ヘッドフォン, 16 コンピュータ 以前の状態の復元,61 クラッシュ,40-41 内部コンポーネント,68 内面図,68 反応が停止した場合,40

### さ

サービスタグ , 11, 15 再インストール Windows XP, 61 再インストール用 CD, 13 サウンド ボリューム , 49 問題 , 49 サポート デルの連絡先 , 117 ポリシー, 115 サポートサイト , 12

### し

システム基板 , 69 システムの復元 , 61 仕様 技術 , 99 シリアル ATA, 83 診断 デル , 57 ライト , 16, 53 診断ライト , 53

### す

スキャナー 問題,48 スタンバイモード,30 スピーカー ボリューム,49 問題,49

### せ

製品情報ガイド,10 設定 セットアップユーティリ ティ,103 セットアップユーティリティ オプション,105 画面,104 起動,104 説明,103

### そ

ソフトウェア 問題,41-42

### 5

チェックディスク,37

#### つ

通気孔,16 前面パネル,16

### τ

テクニカルサポート ポリシー, 115 デル サポートポリシー, 115 連絡先,117 デルサポートサイト,12 電源 オプション,31 オプション、休止状態,33 オプション、詳細設定,32 オプション、設定,32 休止状態モード,33 コネクタ,17 ボタン,16 問題,46 電源オプションのプロパ ティ,31 電源ライト 状態,46 電力 管理,30 休止状態モード,31 スタンバイモード,30 節約,30

### と

トラブルシューティング Dell Diagnostics(診断)プ ログラム,57 以前の状態の復元,61 診断ライト,53 ハードウェアに関するトラ ブルシューティング,61 ヒント,35 ヘルプとサポートセン ター,12 ドライバ 識別,59 説明,59 ドライブ,81 シリアル ATA,83 ハードドライブ,83 フロッピーの取り外し,87 問題,36 ドライブパネル,16

### に

認可機関の情報,10

### ね

ネットワーク セットアップ,29 ネットワークセットアップ ウィザード,30 問題,45 ネットワークセットアップ ウィザード,30

### は

ハードウェア,57 ハードウェアに関するトラブ ルシューティング,61 ハードドライブ 動作ライト,16 問題,37 パスワード クリア,112 ジャンパ,112 バッテリー 交換 , 96 問題 , 35

### ひ

ビデオ コネクタ , 19

### ふ

部品の取り付け コンピュータの電源切断,65 作業を開始する前に,65 推奨するツール,65
プリンタ USB,21 ケーブル,20 セットアップ,20 接続,20 問題,47
プログラム互換性ウィ ザード,41
フロッピードライブ 取り外し,87

### く

ヘッドフォン コネクタ , 16 ヘルプとサポートセンター, 12 ヘルプファイル Windows ヘルプとサポート センター, 12 ほ

保証に関する情報,10 ボリューム 調整,49

### ま

マウス 問題,44 マザーボード「システム基板」 を参照 マニュアル 安全について,10 エンドユーザーライセンス 契約,10 オンライン,12 快適な使い方,10 製品情報ガイド,10 認可機関,10 保証,10

### め

メッセージ エラー, 39 メディアカードリーダー 使い方, 28 取り外し, 91 取り付け, 91, 92 問題, 43 メモリ DDR2の概要, 70 サポートされる種類, 70 取り付け, 72 取り付けのガイドライン, 70 問題, 44

### も

モデム 問題,38 モニター 何も表示されない場合,50 見づらい場合,51 問題 CD ドライブ, 37 CD-RW ドライブ, 37 Dell Diagnostics (診断) プ ログラム,57 DVD ドライブ, 37 E-メール,38 青色の画面,41 インターネット,38 以前の状態の復元,61 一般的な注意,40 エラーメッセージ,39 画面が見づらい場合,51 画面に何も表示されない 場合,50 キーボード,40 コンピュータがクラッシュ した場合,40-41 コンピュータの反応が停止 した場合,40 サウンドとスピーカー, 49 診断ライト,53 スキャナー,48 ソフトウェア,41-42 テクニカルサポートポリ シー, 115 電源,46 電源ライトの状態,46 トラブルシューティングの ヒント,35 ドライブ,36 ネットワーク,45

問題(続き) ハードドライブ,37 バッテリー,35 プリンタ,47 プログラムがクラッシュす る場合,41 プログラムが応答しなく なった場合,41 プログラムと Windows の互 換性,41 ボリュームの調整,49 マウス,44 メディアカードリーダー,43 メモリ,44 モデム,38 モニターが見づらい場合,51 モニターに何も表示されな い場合,50

### 6

ライト コンピュータの正面,53 診断,16,53 ハードドライブ動作,16 ラッチリリース カバー,15 ラベル Microsoft Windows,11 サービスタグ,11,15

138 | 索引